



Faronics Insight

COMPREHENSIVE Lab Control

ユーザー・ガイド

f 🕒 in 💱 🔠 🔊 🖉

www.faronics.com



最終更新日:2021年1月

© 1999 – 2 0 2 1 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics、Deep Freeze、Deep Freeze Cloud、Faronics Deploy、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Anti-Virus、 Faronics Device Filter、Faronics Data Igloo、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、WINSelect は Faronics Corporation の商標および / または登録商標です。その他すべての会社 名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

序文5
重要な情報6
Faronics に関して6
製品の説明書
サポート環境7
テクニカルサポート
連絡先情報
インストール Faronics Insight9
インストールの計画10
インストール開始前には次のような問題を考慮しておきます
Faronics Insight ネットワーク環境構成15
IP サブネットと VLAN15
Insight ポートの使用
IP マルチキャストまたは IP ディレクテッドブロードキャストとともに利用するように、 Faronics を設定
Insight Connection Service 用の Faronics の構成17
Windows への Faronics Insight のインストール
教師用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール
生徒用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール
MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する
シンクライアント環境での Faronics Insight のインストール
ターミナルサーバのインストール
ターミナルサーバーの Insight アップグレード
シンクライアントにおける制限
Faronics Insight を NComputing デバイスにインストール
L および M シリーズ
X シリーズ
安全モードでの Faronics Insight のインストール
パスワード安全モードを選択する
アクティブディレクトリ安全モード33
Faronics Insight を Windows コンピュータからアンインストール
Mac への Faronics Insight のインストール
手動インストール
キーストローク監視とキーボードブロッキングの有効化
自動インストール
Mac からの Faronics Insight のアンインストール
Faronics Insight を iOS デバイスにインストール
インストール
機能
Insight を Android デバイスにインストールする43



インストール	43
機能	43
Insight Chromebook Student のインストール	44
要件および設定	44
ソフトウェアの手動インストール	44
機能	46
Chromebook 用の Insight Student の自動構成	48
オプション #1 - 管理コンソールでのアプリケーション固有の設定。	48
オプション #2 - Web ページでの非表示の構成	53
Faronics Insight のリモート更新	56
選択した生徒の Insight を更新	56
Linsight Connection Service での自動更新の使用	57
Faronics Insight のキオスクモードでの実行	59
Faronics 基本設定の構成	60
教師の優先設定	60
(人) () () () () () () () () () () () () ()	61
	62
フェノ	62
ノノリリー ション 耐限	64
トノイノ	04 64
イーストローク言言	04 64
イットソーク	04 CC
ナヤイルの変更	00
Faronics 教師のアッファート	67
Faronics 生徒のアッファート	67
Faronics セキュリティ監視	68
NAL 境境内での Faronics	69
ウェイクオン LAN 対応	70
802.11 ワイヤレスサポート	71
特殊なハードウェア要件....................................	71
SSID 制限	72
その他の Foronios フーティリティ	
	74
ての他のFaronics ユーティッティ	74 77
Faronics Insight の使用	74 77
その他のFaronics ユーディッティ	74 77 78
その他のFaronics ユーディッティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74 77 78 79
Faronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施	74 77 78 79 79
Faronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用	74 77 78 79 79 83
Faronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて	 74 77 78 79 79 83 84
その他のFaronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて ユーザーインターフェイスのヒント	74 77 78 79 79 83 84 85
その他のFaronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて ユーザーインターフェイスのヒント Insight 8.0 新機能の概要	74 77 78 79 79 83 84 85 89
その他のFaronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて ユーザーインターフェイスのヒント Insight 8.0 新機能の概要 Faronics Insight 機能の概要	74 77 78 79 79 83 84 85 89 91
その他のTaronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて ユーザーインターフェイスのヒント Insight 8.0 新機能の概要 異なるコンピュータでのテストビルダーの使用	74 77 78 79 79 83 84 85 89 91 108
Faronics Insight の使用 始めに Faronics Insight の動作方法 クラスリスト内で実施 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータの使用 ユーザーインターフェイスのヒント Insight 8.0 新機能の概要 異なるコンピュータでのテストビルダーの使用 Faronics セキュリティ監視	74 77 78 79 79 83 84 85 89 91 108 109



5

このユーザーガイドは、Faronics Insight クラスルーム管理ソフトウェアと生徒と教師 のアシスタントの Apple iPad、iPhone および iPod 上へのインストール方法を説明し たものです。また、Faronics Insight の使用方法とその機能についても説明します。

トピック

重要な情報 インストール Faronics Insight テクニカルサポート

序文



重要な情報

この項には Faronics 製品についての重要な情報が記載されています。

Faronics に関して

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界をリードするソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の 顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いています。

製品の説明書

以下は文書から Faronics Insight クラスルーム管理ソフトウェア書類一式が構成されています:

• Faronics Insight ユーザーガイド — この文書は製品の使用方法をガイドするものです。

サポート環境

教師用コンソールの要件

Insight Teacher Console のソフトウェアを、各教師のデバイスにインストールしてください。対応デバイスのオペレーティングシステムは以下のとおりです。

- 32/64 ビット Windows 7、8.1、10
- Windows Server 2008 R2 または 2012(Terminal Service/Thin Client サポート用の み)
- NComputing デバイス
- macOS 10.11 以降

生徒用コンソールの要件

Insight Student クライアントを、各生徒のデバイスにインストールしてください。対応デバイスのオペレーティングシステムは以下のとおりです。

- 32/64 ビット Windows 7、8.1、10
- Windows Server 2008 R2 または 2012(Terminal Service/Thin Client サポート用の み)
- NComputing デバイス
- macOS 10.11 以降
- iOS 9 以降
- Android 7 以降
- Chromebook ChromeOS 49 以降

教師、生徒両方のコンピュータで Faronics の動作に必要な最低要件は以下の通りです。

プロセッサ

- PC: 166 MHz Intel® Pentium® プロセッサ以上
- Mac: 64 ビット Intel ベースの Mac

RAM (最小)

- 1 GB/Windows 7/8/10 の場合
- 2 GB/macOS の場合

プロトコルスタック

コンピュータには必ず TCP/IP 設定を行ってください。 業務用アクセスポイントを推奨しますが、802.11 のワイヤレスにも対応しています。



テクニカルサポート

このソフトウェアは使い勝手を考え、問題がないように全力を尽くして作成されてい ます。問題が生じた場合には、テクニカルサポートまでご連絡ださい。 ウェブサイト http://support.faronics.com

連絡先情報

- ・ ウェブサイト www.faronics.com
- Email: sales@faronics.com
- 住所:

Faronics Technologies USA Inc. 5506 Sunol Blvd, Suite 202 Pleasanton, CA, 94566 USA

Faronics Corporation (Headquarters) 609 Granville Street, Suite 1400 Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada

Faronics Corporation (Europe) 8, The Courtyard, Eastern Road Bracknell, Berkshire RG12 2XB, United Kingdom



インストール Faronics Insight

この章では Faronics Insight クラスルーム管理ソフトウェアのインストール方法を説明 しています。

トピック

インストールの計画 Faronics Insight ネットワーク環境構成 Windows への Faronics Insight のインストール MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する シンクライアント環境での Faronics Insight のインストール Faronics Insight を NComputing デバイスにインストール 安全モードでの Faronics Insight のインストール Faronics Insight を Windows コンピュータからアンインストール Mac への Faronics Insight のインストール Mac からの Faronics Insight のアンインストール Faronics Insight を iOS デバイスにインストール Insight を Android デバイスにインストールする Insight Chromebook Student のインストール Chromebook 用の Insight Student の自動構成 Faronics Insight のリモート更新 Faronics Insight のキオスクモードでの実行 Faronics 基本設定の構成 Faronics セキュリティ監視 NAL 環境内での Faronics ウェイクオン LAN 対応 802.11 ワイヤレスサポート その他の Faronics ユーティリティ



インストールの計画

Faronics Insight をインストールする前に、以下の要件を検討し、お使いのネットワークとコンピュータが正常に動作していることを確認してください。インストール中の問題を防ぐためにもこの確認を行ってください。

インストールの計画に2~3分をかければ、各コンピュータへの Faronics のインス トールは2分以内で実行できるはずです。ほとんどの場合、コンピュータ上で作動中 の Insight ソフトウェアは、Teacher または Student 「生徒」または「教師」(大文字 で)と表記され、ユーザー、実際の teachers と students 「教師」と「生徒」(小文字) や一般のデバイスとは異なっています。

インストール開始前には次のような問題を考慮しておきます

使用環境の Insight アーキテクチャを決定する

Insight では、Insight Connection Service と呼ばれるオプションの Insight インストー ル方法が提供されています。従来の Insight インストールがピアツーピアアーキテク チャに基づいているのに対し、Insight Connection Service は、クライアント - サーバ アーキテクチャに基づいています。Insight Connection Service は、有線 / ワイヤレス 環境や VLAN をサポートするためにルータやワイヤレスアクセスポイントの構成を変 更する必要性を軽減します。

現存のピアツーピアアーキテクチャは今後も存在し、Insight の優先インストール方法 となる場合も多くあります。

Insight はピアツーピアとクライアント - サーバアーキテクチャが混在するハイブリッ ド環境もサポートします。

インストールする前に、使用する組織に最適なアーキテクチャを考慮する必要があり ます。次の点を考慮してください。

ピアツーピア

利点

- サーバー不要で教師と生徒をインストールする簡易クイックインストール
- ラボが同じサブネットの場合は構成変更不要
- 単一クラスまたは小規模校に理想的
- 大規模学校区用に拡張可能(マルチキャストやディレクテッドブロードキャストを 実装するのにネットワークの変更が可能な場合)
- 助長性(リダンダンシー)が組み込まれたアーキテクチャで単一障害点(サーバー) なし

弱点

ルーター無しではサブネットでトラフィックが交差しないので、ワイヤレスアクセスポイントの変更が必要



 有線またはワイヤレスネットワークが接続されていない場合は、ブロードキャスト /マルチキャストパケットが両方のネットワークを通過できるように構成の変更が 必要

クライアント - サーバ (Insight Connection Service)

利点

- クラスルームサーバーは TCP ポート 8080 で通信するため、ルーターまたはアクセスポイントの変更不要
- ネットワークが複雑な大規模校または学校区に最適

弱点

- 生徒 500~10,000 人ごとにサーバーが1台必要
- サーバーが単一障害点
- 一部サポートされていない機能とオペレーティングシステムあり(「Insight Connection Service 用の Faronics の構成」参照)

通常クラスルーム / ラップトップカート環境、またはマンツーマン環境から選択する

通常クラスルーム / ラップトップカート環境に関しては、本説明書の後述する通常のインストール指示に従ってください。

生徒1人1人が自分のコンピュータデバイスを持つ「マンツーマン」環境で Faronics を実行中には、生徒が教師チャネルヘチャネルをかえられるようにするか、教師がリス トを作成して生徒をクラスに入れさせるようにするかを決定します。

自動的に生徒をクラスに入れるようにすることをお薦めします。

機能は以下の通りです:

- 1. 全ての生徒のコンピュータを、教師が誰も使用していないデフォルトの「ホーム」 チャネルに設定します。
- 2. 各教師を固有のチャネルに設定します。クラスルームの番号を使うと便利です。
- 生徒用コンピュータにデフォルトオプションとして、チャネルをかえないようイン ストールします。
- クラスリストを手動でまたはダイナミックに作成します。クラスリストは、教師の ログイン ID、アクティブディレクトリ名またはコンピュータ名のいずれかに基づい て作成できます。これらリストの作成方法は、Faronics Insight ユーザーガイド (users.pdf)に説明されています。
- 教師用コンソール内で、現在のクラスの生徒を選択するか、適切なクラスリストを 読み込んでください。この作業により、一時的に生徒をホームチャネルから教師が ログオンしているチャネルに引き出します。
- クラスを終了します。現在のクラスリストが終了すると、現在のクラスにいる全生 徒にホームチャネルに戻るように命じます。クラスを活発に解散することを忘れる ことは問題ではありませんが、別の教師が生徒を自分のチャネルに集めて自分のク ラスリストを読み込むことができます。



- 7. クラスを自動的に終了します。クラスを自動的に終了するよう選択できます。
 - > 初期設定による終了時間 教師にクラスの終了時間の指定を許可します。クラス がロードされるたびにこれが通常の終了時間となります。
 - > 今から XX 分後 教師にクラス開始時における終了時間までの分数の入力を許可します。

各クラスルームに対して独自の教師チャネルを選択します(通常クラスルーム設定)

Insight は同じネットワーク上で、16,000 ものクラスとともに動作するよう設計されて います。教師用コンピュータの内容を同じチャネル上の生徒用コンピュータにブロー ドキャストするためには、教師用チャネルを利用します。インストールを簡素化する ために、各クラスルームは独自のチャネルを持つ必要があります。

教師用チャネルは TV のチャンネルのようなものだとお考えください。あるチャンネル に合わせたすべての TV は同じ番組を受信します。同様に、ある教師チャネルに設定さ れた全ての生徒は同じチャネルに設定された教師からのスクリーンブロードキャスト を受信するわけです。ネットワークに Faronics クラスが1つしかない場合は、1~ 16,000 までのどの数字でも選ぶことができます。複数の Faronics クラスがある場合 は、それぞれに独自の教師チャネル番号が必要です。

各クラスルーム用に、教師用コンピュータとなるコンピュータを決定する

通常、ラボ1つに1台の割合で教師用コンピュータを設定することになります。教師 はこのコンピュータを使って、同じクラスルーム内のすべての生徒用コンピュータを 制御します。インストールの間に、コンピュータが「教師」または「生徒」用コン ピュータのどちらであるかを指定する必要があります。

各ラボには複数の教師用コンピュータを設定することもできますが、行動の「制限」 に関して、制限を実行する最初の教師に、同様の制限を実行しようとする以降の教師 に対しての優先権が与えられます。なんらかの理由で最初の教師がオフラインになれ ば、次の教師が制限するアクションが引き継ぎますので、設定を同じにしておくとよ いでしょう。教師が現在のチャネルにいる場合、生徒は 20-30 秒間でホームチャネル に戻ります。

全生徒・教師用コンピュータに有効な TCP/IP プロトコルスタックを設定します。

コンピュータが DHCP を使用していれば、DHCP は適切に機能するはずです。教師用 と生徒用コンピュータが全て同じ IP サブネットであればベストです。Faronics Insight は静的 IP アドレスで動作しますが、必須ではありません。

教師用と生徒用コンピュータが同じ IP サブネットではない場合、マルチキャストまた は IP ディレクテッドブロードキャストを使用し、スイッチがこれらの機能をサポート しているか確認して下さい。伝送と発見方法に関するさらなる情報については、「IP サ ブネットと VLAN」の項を参照してください。

良好なネットワークハードウェアおよびソフトウェアを使用する

あなたのクラスルームがすでにネットワークエラーを経験している場合、Faronics Insight は事態をさらに悪化させます。コンピュータにログオンする際、またはネット ワーク上でファイルをコピーする際に問題がある場合は、Faronics をインストールする 前に問題を解決してください。



業務用アクセスポイントを利用する

ワイヤレス ネットワーク上で Faronics Insight を利用する場合は、業務用のクラスアク セス ポイントを利用することが重要です。通常、100 ドル以下の個人家庭用ネットワー クワイヤレスアクセスポイントは多数の接続を処理できるほど頑丈ではありません。生 徒の接続を確実に処理可能な 200 ドルから 300 ドルの価格帯のアクセスポイントをお 薦めします。

生徒に Faronics Insight アイコンにアクセスさせるかどうかを決定する

生徒に Faronics アイコンにアクセスさせたくない場合は、生徒用のインストールを実行し、詳細オプションを選択し、お忍びモードを選択します。

安全モードで Faronics を作動させたいか決定してください

Faronics のインストールには2つの安全モードが提供されています。ひとつまたは両方の安全モードでインストールが可能です。Faronics Insight を安全モードで実行すると、教師は、特定のチャネル上の生徒を見るためにパスワードをタイプする必要があります。もしもこのモードが教師インストールに選択される場合、生徒インストールにも同じモードが選ばれなければなりません。インストールの方法については、「安全モードでの Faronics Insight のインストール」を参照してください。

Faronics Insight をアクティブディレクトリ安全モードで実行し、Faronics 教師が特定 のチャネル上の生徒を見る際には、ドメインユーザーグループのメンバーである必要が あります。インストールの方法については、「安全モードでの Faronics Insight のイン ストール」を参照してください。

Terminal Services 環境または NComputing 環境のいずれかでインストールする必要があるかどうかを 決定する

Faronics Insight は、シンクライアント、ファットクライアント、あるいはその混合の 環境のいずれでも動作します。シンクライアント対応のインストール方法については、 「シンクライアント環境での Faronics Insight のインストール」の項を参照してください。

Mac でソフトウェアをインストールするかどうかを決定する

Faronics 生徒と教師のアプリケーションは Mac 上で動作します。Mac への Faronics Insight のインストール方法は、「Mac への Faronics Insight のインストール」の項を参照してください。

Chromebook にソフトウェアをインストールするかどうかを決定する

Faronics 生徒は強力な機能セットを持つ Chromebook で動作します。Chromebook への Faronics Insight 生徒のインストール方法は、「Insight Chromebook Student のイン ストール」の項を参照してください。



iOS デバイスをクラスルームに含めるか決定してください

Faronics は、iPad、iPhone または iPod などの Apple デバイスをクラスルームに含め る無料ソフトウェアを提供します。これらデバイスを含める方法については、 「Faronics Insight を iOS デバイスにインストール」の項を参照してください。

SSID ネットワーク不正変更を使用するかどうかを決めてください。

ネットワーク不正変更制御の設定は拡張されて、生徒のデバイスが接続できる特定の 許可されたワイヤレスネットワークのみを有効にできるようになりました。この機能 により、3G/4G データ接続ができるスマートフォンを持った生徒が、ポータブル Wi-Fi ホットスポットを使用するのを防ぐことができます。SSID ネットワーク不正変 更は、許可されたワイヤレスネットワークが使用可能な時に、生徒用コンピュータを 強制的に関連づけることができます。この機能は教師用のインストール時および生徒 用の構成オプションで構成できます。この機能が構成されると、Insight は生徒に許可 リストに SSID 名があるワイヤレスネットワークのみとの関連付けを許可します。



Faronics Insight ネットワーク環境構成

デフォルトでは、Faronics は全生徒教師と同じ IP サブネットにあるものとみなします。 しかし、教師が生徒と別のサブネット(または別のセグメント)にいるときでも、 Faronics が適切に機能するように設定することは可能です。

IP サブネットと VLAN

教師が生徒のコンピュータの別の IP サブネットにいる場合、Faronics が使用するデフォルトの「IP ブロードキャスト」UDP パケットは生徒により受け取られることはなく、マシンは生徒リスト内で表示されません。代わりに、IP マルチキャストまたは IP ディレクテッドブロードキャストパケットのいずれかを使用するには、教師ソフトウェアの環境設定を行わなければなりません。

IP マルチキャストは、ひとつのデバイス(教師)を持ち、単一デバイスでなく特別の複数キャストアドレスを使い一連の受取人(生徒)にメッセージを送信する能力をサポートします。IP ディレクテッドブロードキャストは、特別なアドレスで、(適切に形成されている場合)目的地のサブネットに到着するまであなたのネットワークを単一のディレクテッド UDP パケットに変換します。目的地のサブネットを検索時に、ルーターはパケットを標準的な UDP ブロードキャストパケットに転換します。

どちらの輸送方法でも、まずあなたのネットワークルーターがその機能を作動させるためのサポートを持っているか確認することが大切です。IP ディレクテッドブロード キャストが作動するためには、あなたのルーターは IP ディレクテッドブロードキャス トパケットを転送するよう設定されていなければならず(時として、ルーターはこれら を「UDP ディレクテッドブロードキャスト」と称します)、パケットのアドレスが適切 に形成されていなければなりません。あなたのネットワークデバイスの機能や環境設定 に関するさらなる情報については、ネットワーク管理者に連絡するか、ハードウェアの 製造者の説明書を参照してください。

Insight ポートの使用

Insight の主なポート番号は 796 (または 0x31C hex) です。Insight 7.8 からは、特に 1024 以下のポートとの通信特権を必要とするオペレーティング システム (すなわち Android) 用に、ハイポートも 11796 (または 0x2E14 hex) に番号が変更されています。Insight は将来、796 から 11796 にポートを移行する予定ですが、8 では両方のポートが 使用されています。

すべての非ステータスブロードキャストとマルチキャストパケットは、これらのポート に送られます(796、11796)。これらパケット用ソースポートはダイナミックで(時と して「一過性」と呼ばれます)、つまり動作時間にて TCP/IP によって決定され、特定 することはできません。一般的に 49152-65535 の域になります。すべての Insight PC は、ポート 796 と 11796 上にデータトラフィックを受信するよう許可しなければ ならず、伝送されたデータが一過性ソケット上で省略するよう意図しないようにしなけ ればなりません。

Insight 教師が特定の生徒にアクションを実行している場合 (リモートコントロール、 サムネイル、合併、チャットなど)、セッション向き TCP パケットが使用されます。生 徒がファットクライアントマシンである場合、目的地ポートもまた 796 または 11796 となります。ソースポートもまた、ダイナミックとなります。



シンクライアントとなるのは特別なケースです。全 UDP 非ステータスブロードキャス トとマルチキャストパケットは、まだポート 796 および 11796 に送信されますが、生 徒がシンクライアント生徒の場合、全 TCP パケットはダイナミックポートに送信され ます。したがって各生徒用ポートは独自のものです。この場合、教師が TCP パケット をダイナミックポートからダイナミックポートへ送ることが可能です。しかしながら、 ターミナルサーバ環境内のほとんどの TCP/IP トラフィックは、同コンピュータ内で起 こり、ほぼ内部処理コミュニケーションに留まっています。

追加の UDP ステータスパケットがひとつあり、ネットワーク上の Insight の活動をモ ニタするために使われています。トラフィックはポート 1053 で開始され、常にポート 1053 に送信されます。ブロードキャストまたはマルチキャストパケットのいずれかで す。Insight はステータスパケットなしで動作しますが、機能が減少されます(特に、 生徒が時間前にクラスを離籍するのを検知するために使われる登録データパケットが マンツーマン環境にある場合。)

全マルチキャストパケットは、239.0.208.0 から 239.0.208.255 のアドレス域にありま す。IP マルチキャストが転送手段として選択される場合、ルーターはデータをこのア ドレス域に転送するよう設定されなければなりません。IP ディレクテッドブロード キャストが選択される場合にも、全トラフィックはポート 796 (0x031C)、11796 (0x2E14) とポート 1053 (0x41D) (ソースか目的地のいずれか)に、サブネット間を自 由に移動できるように設定されなければなりません。

Faronics は、IP ディレクテッド設定内で使用する適切なアドレス決定を手助けする ツールを提供します。DirBCastAddr.exe と呼ばれ、インストールパッケージ内にあり ます。パッケージをアンジップ後、ツールは Windows フォルダ内の「ユーティリ ティ」サブフォルダ内で見つけられます。ファイルをクリックし、その生徒のサブ ネットマスクとともにターゲットサブネット上のいずれかの生徒用コンピュータの IP アドレスを入力します。両方のアドレスを入力したら、「計算」ボタンをクリックしま す。

IP マルチキャストまたは IP ディレクテッドブロードキャストとともに利用するように、Faronics を設定

上記のとおりネットワークデバイスを設定後、Faronics ソフトウェアをその伝送方法 で使用するように設定します。

- 1. 管理者を選択 | 教師用コンピュータ上のコンソールより優先権。
- ネットワークタブ上で、「データ伝送」の項目内の IP マルチキャスト または IP ディレクテッドブロードキャストを選択します。
- IP ディレクテッドブロードキャストが優先される方法であるとき、 DirBCastAddr.exe ユーティリティが正しいとする決定された IP アドレスを入力し ます。複数のサブネット上で特定の教師用コンピュータが生徒用コンピュータと通 信しなければならない際には、続くサブネットのアドレスを追加します。



各教師インストールは、インラタクトする生徒が所在するサブネットとのみ設定されな ければなりません。したがって、3つ以上のサブネットを持つ環境では、別の教師用コ ンピュータがネットワーク設定ダイアログ内の別のサブネットアドレスを持つことがで きるようになり、持つようになります。特定の教師インストールで3つ以上のサブネッ トが必要となるまれなケースでは、テクニカルサポートまでお問い合わせになってさら なるサポートを受けてください。

教師用コンソールを起動することにより、実行を有効化することができます。これはこの時点で、自動的に他のサブネット上の生徒用コンピュータを発見するでしょう。UDP データがネットワークを適切に通過中の場合、教師はスクリーンをブロードキャストで きるか、生徒のスクリーンを空白にできます。教師が「生徒リスト」内の生徒のサムネ イルを閲覧できたり、リモートで生徒画面を閲覧できたりもする場合には、TCP デー タもまたネットワークを適切に通過しているということです。Insight は仲間から仲間 へのアプリケーションですので、サブネット通過の際には、充分に機能するためには UDP トラフィックと TCP トラフィックの両方が要求されます。

Insight Connection Service 用の Faronics の構成

Insight では、Insight Connection Service と呼ばれるオプションの Insight インストー ル方法が新しく提供されています。従来の Insight インストールがピアツーピアアーキ テクチャに基づいているのに対し、Insight Connection Service は、クライアント -サーバアーキテクチャに基づいています。Insight Connection Service は、有線 / ワイ ヤレス環境や VLAN をサポートするためにルータやワイヤレスアクセスポイントの構成 を変更する必要性を軽減します。

Insight はピアツーピアとクライアント - サーバアーキテクチャが混在するハイブリッ ド環境もサポートします。

Insight Connection Service のシステム要件:

500 接続用

- ・ 常時稼動の専用マシンまたは仮想マシン
- 64-bit Windows Server 2008 R2 以降
- 固定 IP アドレス
- 4 GB RAM
- 100 MB イーサネットネットワーク アダプタ
- ポート 8080 (通信)と 8085 (ステータス)がオープンであること
- オプション: Insight AD 安全モード対応

10,000 接続用

- ・ 常時稼動の専用マシンまたは仮想マシン
- 64-bit Windows Server 2008 R2 以降
- 固定 IP アドレス
- 16 GB RAM
- スイッチでギガビットポートに接続した1GB イーサネットネットワーク アダプタ



- ポート 8080 (通信)と 8085 (ステータス)がオープンであること
- オプション: Insight AD 安全モード対応

Insight Connection Service の設定:

- 「マイコンピュータ」で、Faronics 製品をダウンロードした場所に行き、 Windows\ConnectionServer フォルダ内で「ICS.msi」をダブルクリックします。
- 2.「次へ」をクリックします。
- 3. 表示されるライセンス契約書を読み、同意する をクリックし、次へをクリックしま す。
- 4. 必要に応じてセキュアモードのオプションを選択します。「セキュアモードを有効 化」オプションを有効にすることで、セキュアモードの1つまたは両方を選択でき るようになります。パスワードのセキュアモードを有効にすると、教師側と生徒側 のいずれのインストールにおいてもチャンネル登録にそのパスワードが必要となり ます。Active Directoryのセキュアモードを有効にすると、教師は Insight Teachers という名前の Active Directory(IT スタッフが作成)に属する必要が生じます。

注:セキュアモードを選択する前に「安全モードでの Faronics Insight のインストール」をお読みになることを推奨します。

- 5. [次へ] をクリックします。
- 6. 問題に関する匿名、部外秘のレポートを送信するには、「問題に関するレポートの Faronics への送信を許可」を選択します。[次へ]をクリックします。
- 7.「インストール」をクリックします。
- 8.「終了」をクリックしてインストールを終了します。

インストールが終了すると、Insight Connection Service ステータスショートカットが スタート メニューに新たに追加さていることが分かります。Insight Connection Service ステータスショートカットを実行し、サーバの状態を表示します。

注:サーバーにネットワークアダプタ(NIC)が複数ある場合は、サーバーのリスニン グIPアドレスを指定しておくのが最良です。これを行うにはまずWindowsレジスト リエディタ(regedit.exe)を開き、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\INSIGHTを探し ます。文字列型(REG_SZ)のデータを次のとおり新規で2つ作成します:IPSUBNET (値はホストIPアドレス(192.168.1.0 など)と同じ)およびIPSUBNETMASK(値は IPサブネットマスク(255.255.255.0 など)と同じ)。(Windows サービスから)ICS サービスを再起動します。

Insight 教師用コンソールを Insight Connection Service に接続する:

Insight Connection Service とサブネットが同じ場合

- 1. 「教師用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール」に従って、Insight 教師用コンソールのインストールを完了します。
- Insight 教師用コンソールが Insight Connection Service と同じサブネット上にある 場合は、これ以上の構成は必要ありません。Insight Teacher が Insight Connection Service を発見します。



Insight Connection Service とサブネットが異なる場合

Insight 教師用コンソールが Insight Connection Service と異なるサブネット上にある場合は、さらに設定が必要です。

- 1. インストールが完了したら、管理者ドロップダウン メニューから Insight 教師用コ ンソールを開き、「基本設定」を選択します。
- 2.「基本設定」ダイアログで「ネットワーク」タブを選択します。
- 3.「データ転送」を「IP ディレクティッドブロードキャスト」に*変更します*。
- 4. 「サブネット1」に Insight Connection Service の IP アドレスを*挿入します*。

これで、Insight 教師用コンソールは Insight Connection Service のみと通信するように 設定されました。

異なるサブネット上で Insight Connection Service およびブロードキャストと通信する(ハイブリッドモデル)

- 1. 教師がブロードキャスト Insight Student と Insight Connection Service の両方と通信する必要がある場合は、さらに次のステップが必要です。
- 2. 「IP ディレクティッドブロードキャスト」内の「データ転送」タブで、「サブネット2」にブロードキャスト範囲 255.255.255 を挿入します。

Faronics Insight Connection Service を使用するための Faronics Insight Student の設定

- 1. 「生徒用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール」の手順に沿って Faronics Insight Student のインストールを完了させます。
- 高度な設定を選択した場合は、インストール時に次の新しいダイアログを利用でき ます: Insight Connection Service。
- 3. [Student を Insight Connection Service に接続する] オプションを有効にします。
- 4. Faronics Insight Connection Service のアドレスを入力します。
- 5. インストールが完了した後は、生徒用デバイスの通信は Insight Connection Service を使用して行われます。

現在 Insight Connection Service でサポートされていない機能:

・ ビデオ

教師チャンネルの自動割り当てを有効化

Insight Connection Service では教師チャンネルを自動割り当てできます。使用する範囲を指定することが可能で、指定している場合、チャンネル割り当てをサポートするために指定した範囲で Insight Connection Service が入れ替えを実行します。これは、教師に手動によるチャンネル設定管理をさせたくない場合に非常に便利です。

注:この機能では、教師全員が Insight Teacher のバージョン 9.0 以降を実行している 必要があります。教師全員が最初にダイナミックチャンネル範囲内でこのチャンネル番 号を持っている必要があります。教師全員にチャンネル変更を許可する必要があります (enablechannelselect.exe ユーティリティを使用)。ICS を使用している教師の全員に 対応できるだけの十分な範囲である必要があります。

この機能を Insight Connection Service で有効にするには:



- 1. 次のレジストリ キーを作成します:
 - > HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Insight DynamicChannelStart REG_DWORD = (channel) (1000 など、自動チャンネル範囲の開始番号)
 - > HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Insight DynamicChannelStop REG_DWORD = (channel)(5000 など、自動チャンネル範囲の終了番号)
- 2. services.msc から、Insight Connection Server を再起動します。

例

ダイナミックチャンネル範囲が 1000 ~ 5000 に設定されており、教師全員が現在、インスール時のチャンネル 1001 番に設定されていると仮定した場合。

- 1. 1人目の教師が ICS に接続し、そのまま 1001 番を使用します(1001 番がダイナ ミック範囲にあり現在未使用であるため)。
- 2. 2 人目の教師が ICS に接続し、ダイナミック範囲内のランダムなチャンネルへと移動させられます(1001 番が現在使用されているため)。
- 3. 別の教師が ICS に接続するたびにこのプロセスが繰り返されます。
- 4. ダイナミック範囲内の別のチャンネルへと移動させられた教師はその新しいチャン ネルをレジストリに保存し、以後、そのチャンネルに接続することになります。

注:教師が自らのチャンネルをダイナミック範囲内の任意のチャンネルに手動で変更 した場合は、別のチャンネルへと再度移動させられることはありません。これは、同 じチャンネルに教師2名を割り当てるというシナリオに対応するためです。ただし、 そうすることによってチャンネル競合の問題が発生することがあります。



Windows への Faronics Insight のインストール

Faronics Insight には Windows 対応の2つのインストールプログラムがあります。

- teacher.msi
- student.msi

Faronics Insight をインストールするには、適切な msi ファイルを教師用コンピュータ か生徒用コンピュータに実行させなければなりません。インストールにより、各コン ピュータ上の「C:\Program Files\Faronics」フォルダが作成され、全ファイルはコ ンピュータ上でローカルに保存されます。

インストールを完了したら、コンピュータが始動するたびに生徒または教師のプログラ ムが始動します。教師用コンピュータでは、コンピュータ画面の右下隅のシステムトレ イの中に、Faronics アイコンが表示されます。小さな緑色の「円の輪」のアイコンで す。Faronics の使用を開始するには、ショートカットメニューを右クリックして開く か、Faronics コンソールを左クリックして開きます。

生徒用コンピュータでは、コンピュータ画面の右下隅のシステムトレイの中に Faronics 生徒アイコンが表示されます。カーソルをアイコンの上に置くと、教師チャ ネルと生徒のコンピュータの IP アドレスが表示されます。

教師用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール

- 1. 「マイ コンピュータ」で、Faronics 製品をダウンロードした場所に行き、Windows フォルダ内で teacher.msi をダブルクリックします。
- 2.「次へ」をクリックします。
- 3. 表示されるライセンス契約書を読み、*同意する*をクリックし、次へをクリックしま す。
- 教師のチャネル番号 (1~16,000) を入力します。各クラスルームが独自に持っている番号を選択するよう注意してください。
- 5. 必要な場合は「詳細オプション設定をチェック」欄をチェックして、「次へ」をクリックします。注意:この教師インストールで選択した設定は、この教師が初期インストール後に生徒用コンピュータをリモート更新する際にも適用されます。「詳細設定」には以下の項目があります:
 - > お忍びモード Insight アイコンは生徒のコンピュータでは見えません。
 - > 生徒はチャネルを変更できます 登録したチャネルを生徒が変更可能にします
 - > キーボード監視なし 生徒用コンピュータ上のキーボード監視を解除します。
 - > タスクマネージャ / アクティビティモニター制限を可能にする 生徒用コン ピュータ上でのタスクマネージャ / アクティビティモニターを制限します。



- > インターネット履歴ロギングはありません 生徒のインターネット履歴ロギング をオフにします。
- > ネットワーク不正変更制御の有効化 有線およびワイヤレスネットワークアダプ タの切断を監視します (SSID ワイヤレス許可リストの設定を含む)。
- > 画面プライバシー 生徒に画面共有の無効化を許可します。
- > Chrome 拡張機能のインストール Web 使用履歴および Web 制限の Chrome 拡張機能をインストールします。
- 必要に応じて、WIFI SSID ホワイトリスト作成を有効にします。有効にした時点で、 対象となる SSID を入力する必要があります(下のボックスに SSID を入力し[追加]をクリック)。これが有効になっていると、接続可能であるものの生徒はそれら SSID へのアクセスを制限されます。[次へ]をクリックします。
- 必要に応じて「教師を接続サーバーに接続」を選択して、教師を Insight Connection Server に接続し、静的 IP アドレスを「接続サーバーアドレス」フィー ルドに入力します。[次へ]をクリックします。
- 8. 必要に応じてセキュアモードのオプションを選択します。「セキュアモードを有効 化」オプションを有効にすることで、セキュアモードの1つまたは両方を選択でき るようになります。パスワードのセキュアモードを有効にすると、教師側と生徒側 のいずれのインストールにおいてもチャンネル登録にそのパスワードが必要となり ます。Active Directoryのセキュアモードを有効にすると、教師は Insight Teachers という名前の Active Directory (IT スタッフが作成) に属する必要が生じます。
 - 注:セキュアモードを選択する前に「安全モードでの Faronics Insight のインストール」をお読みになることを推奨します。
- 9. 問題に関する匿名、部外秘のレポートを送信するには、「問題に関するレポートの Faronics への送信を許可」を選択します。[次へ] をクリックします。
- 10.「インストール」をクリックします。
- 11.「終了」をクリックしてインストールを終了します。

教師が以前にそのデバイスにインストールされていた場合、現在のファイルを更新す るために再起動しなければなりません。

デフォルトでは、教師はチャネルを変更不可能な状態でインストールされています。 教師にチャネルを変更させる能力を与えたい場合、または複数チャネルを表示する能 力を与えたい場合、製品をダウンロードした場所から Windows フォルダ内の「ユー ティリティ」サブフォルダ内にある 「EnableChannelSelect.exe」ファイルをコピーし て、動作させなければなりません。ツールは、管理者権限で作動させなければなりま せん。Vista または Windows 7 では、必ずスタート メニューからこのアイテムを右 クリックしてコマンド プロンプトを起動して、「管理者として実行」を選択してくださ い。

生徒用コンピュータ上への Faronics Insight のインストール

- 1. 「マイコンピュータ」内で、Faronics 製品をダウンロードした場所に行き、 Windows フォルダ内で student.msi をダブルクリックします。
- 2.「次へ」をクリックします。
- 3. 表示されるライセンス契約書を読み、同意する をクリックし、次へをクリックしま す。



- 生徒を管理する教師チャネル番号 (1 から 16,000) をタイプするか、マンツーマンの 環境では 生徒デバイスを決定するホームチャネル番号をタイプします。各クラス ルームが独自に持っている番号を選択するよう注意してください。詳細オプション を設定したい場合は、「詳細オプション設定をチェック」欄をチェックします。次へ をクリックします。
- 5. 適宜、詳細オプションを設定します。

生徒用の詳細オプションには、以下の選択肢が含まれます。詳細については、後述 する「MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する」にあり ます。

- > ステルスモード Insight アイコンが生徒のコンピュータで非表示になります。
- > 生徒によるチャンネル変更可 生徒に登録しているチャンネルの変更を許可します。
- > キーボードモニタリングの無効化 生徒のキーボードの監視機能をオフにします。
- > インターネット使用履歴記録の無効化 生徒のインターネット使用履歴の監視機能をオフにします。
- > ネットワーク不正変更制御の有効化 有線およびワイヤレスネットワークアダプ タの切断を監視する (SSID ワイヤレス許可リストの設定を含む)。
- > 画面プライバシー-生徒に画面共有の無効化を許可します。
- > RDP デスクトップのフォロー 生徒にコンソールだけでなく RDP セッションの デスクトップのフォローも許可します。
- > EDGE ブラウザ / 最新バージョンの INTERNET EXPLORER を許可 生徒に最新 バージョンの Internet Explorer でのブラウジングを許可します
- > Chrome 拡張機能のインストール Web 使用履歴および Web 制限の Chrome 拡張機能をインストールします。
- 必要に応じて、WIFI SSID ホワイトリスト作成を有効にします。有効にした時点で、 対象となる SSID を入力する必要があります(下のボックスに SSID を入力し[追加]をクリック)。これが有効になっていると、接続可能であるものの生徒はそれら SSID へのアクセスを制限されます。[次へ]をクリックします。
- 必要に応じて「生徒を接続サーバーに接続」を選択して、生徒を Insight Connection Server に接続し、静的 IP アドレスを「接続サーバーアドレス」フィー ルドに入力します。[次へ]をクリックします。
- 8. 必要に応じてセキュアモードのオプションを選択します。「セキュアモードを有効 化」オプションを有効にすることで、セキュアモードの1つまたは両方を選択でき るようになります。パスワードのセキュアモードを有効にすると、教師側と生徒側 のいずれのインストールにおいてもチャンネル登録にそのパスワードが必要となり ます。Active Directory のセキュアモードを有効にすると、教師は Insight Teachers という名前の Active Directory (IT スタッフが作成) に属する必要が生じます。

注:セキュアモードを選択する前に「安全モードでの Faronics Insight のインストール」をお読みになることを推奨します。

- 9. 問題に関する匿名、部外秘のレポートを送信するには、「問題に関するレポートの Faronics への送信を許可」を選択します。[次へ] をクリックします。
- 10.「インストール」をクリックします。
- 11.「終了」をクリックしてインストールを終了します。



MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する

teacher.msi または student.msi をスクリプトまたはデスクトップ管理ツールから実行 したい場合は、Faronics をインストールするためのコマンドラインオプションがあり ます。msiexec.exe を実行すると、機能を有効にするために、各値がヌル値以外の値 (1 など)に設定されます。Msiexe.exe コマンドラインパラメータは、msiexec.exe を 実行することで見つかります。Msiexec.exe は Microsoft のプログラムです。

• CHANNEL="X"

教師チャネル X で Faronics をインストールします。「X」は $1 \sim 16,000$ の整数である必要があります。

ADVANCED_OPTIONS

以下の詳細オプションのいずれかを設定するよう要求されています。

• STEALTH_MODE

ヌル値以外の値に設定時に Faronics アイコンが生徒用コンピュータ上で表示されないようにする詳細オプション。

• STUDENT_CHANGE_CHANNEL_MODE

ヌル値以外の値に設定時に、生徒が教師チャネルを変更できるようにする詳細オプ ション。

NO_KEYBOARD_MONITORING_MODE

ヌル値以外の値に設定時に生徒キーストロークが生徒用コンピュータ上で記録され ないようにする詳細オプション。

• NO_INTERNET_MONITORING_MODE

ヌル値以外の値に設定時にインターネット履歴が生徒用コンピュータ上で記録され ないようにする詳細オプション。

AD_SECURE_MODE

ヌル値以外の値に設定した場合、教師または生徒はアクティブディレクトリ安全 モードに入ります。生徒を管理できるのは、ドメインユーザーグループ「Faronics 教師」のメンバーになっている教師のみです。

• SECURE_MODE

ヌル値以外の値に設定した場合、生徒用コンピュータに接続するには教師用コン ソールにパスワードが入力されなければならない、製品のパスワード安全バージョ ンがインストールされます。また、生徒用コンピュータもこのモードでインストー ルされなければなりません。

• PASSWORD

パスワード安全モードにする際に、パスワードが必要になります。

• PASSWORD_CONFIRM

パスワード安全モードにする際に、パスワードの確認が必要になります。



• TASK_MANAGER_LIMIT

ヌル値以外の値に設定した場合、教師がタスクマネージャとアクティビティ監視を 制限するかしないかを決定できる詳細オプション。

ENABLECHANNELSELECT

ヌル値以外の値に設定した場合、ひとつまたは複数のクラスルームを見るために教 師はチャネルを変更できます。

・ LCS=Insight Connection Service の IP アドレス

Insight Connection Service と通信するように生徒を設定します。

• ONLY_INSTALL_UPGRADE (Student.msi のみ)

1に設定した場合、student.msiを既存の生徒に展開すると、アンインストールでは なくアップグレードします。

• ENABLENETWORKTAMPERCONTROL=1

ネットワーク不正変更検出機能をオンにする生徒用のインストールオプションです。

- SSID_WHITELIST_NETWORKS="net1+net2+net3+etc..."
- ENABLE_SSID_WHITELIST=0

この機能をオフにします。オンにするには、 ENABLENETWORKTAMPERCONTROL と連携して使用してください。

• STUDENT_PRIVACY=1

では、生徒用コンピュータの画面プライバシーをオンにし、Insight の教師がユーザーの画面を閲覧することを許可する場合にプロンプトを表示します。

FOLLOW_RDP_DESKTOP

生徒用エージェントは、RDP セッションのコンソールだけでなくデスクトップも フォローします。

ALLOW_METRO_IE

生徒に Edge ブラウザでのブラウジングを許可します

• INSTALL_CHROME_EXTENSION=0

Student.msi 用のインストールオプションです。これにより Chrome Web Helper 拡張機能が生徒用コンピュータにインストールされないようにします。

- INSTALL_FIREFOX_EXTENSION=0
 生徒にウェブ制限用の Firefox ポリシーを使用しないインストールを許可します。
- INSTALL_EDGE_EXTENSION=0
 生徒にウェブ制限用の Microsoft Edge 拡張機能を使用しないインストールを許可します。
- ALLOW_BECOME_STUDENT=1

教師用および生徒用クライアントの両方がインストールされている共有コンピュー タでこの設定を行うと、教師用コンソールを生徒用に変更するオプションを使用で きます



例:

ADVANCED_OPTIONS=1 ENABLENETWORKTAMPERCONTROL=1 ENABLE_SSID_WHITELIST=1 SSID_WHITELIST_NETWORKS="net1+net2+net3+etc..."

例えば、「test」というパスワードを使って、チャネルは変更可能だが3チャネルで開始するというパスワード安全モードの教師用を無音でインストールしたい場合、スクリプトは次のようになります。

Msiexec.exe /i "<teacher.msi>\teacher.msiへのパス" /qn ADVANCED_OPTIONS=1 SECURE_MODE=1 PASSWORD=test PASSWORD_CONFIRM=test CHANNEL=3 ENABLECHANNELSELECT=1 LCS=192.168.2.3 RELAY=10.1.1.2



シンクライアント環境での Faronics Insight のインストール

Faronics Insight では、ターミナルサーバまたは NComputing 環境をサポートしていま す。Faronics はシンクライアントコンピュータを生徒および / または教師用コン ピュータとして使用可能にします。クラスルームではシンクライアントコンピュータと 従来のクライアントコンピュータ(「ファットクライアント」)を自由に組み合わせて使 用できます。

ターミナルサーバのインストール

ターミナルサーバのインストールは次の2つの手順で実行します。まず、ターミナル サーバ上で、TerminalServer.msiを実行する必要があります。この作業により、全て必 要なファイルがターミナルサーバにコピーされますが、ターミナルサーバクライアント コンピュータを教師用または生徒用として設定することはありません。

ターミナルサーバが「実行)」モードになっていれば、「インストール後」のダイアログ が表示されます。Faronics Insight はターミナルサーバにインストールできるよう設計 されていますので、このダイアログを完了させる必要はありません。いつでも、ダイア ログ内の「*キャンセル*」ボタンを押してかまいません。

この第一手順を完了したら、Faronics ファイルはターミナルサーバにコピーされてい ます。使いたい各シンクライアントのコンピュータ上で動作するよう Faronics を適切 に設定する必要があります。次の3つの方法のいずれかでこれを実行します。

1. 生徒または教師の手動環境設定

管理者の権限を使ってシンクライアントにログインし、SetupTSClient.exe 環境設 定を実行します。クラスルーム内の各シンクライアント デバイスでこの手順を繰り 返します。

2. 生徒または教師のスクリプト環境設定

SetupTSClient.exe ユーティリティをスクリプトすることができます。以下のコマン ドラインオプションが認識されます:

#X	「X」が希望チャネル番号である場合、教師チャネルを環境設定します。
StUdEnT	Faronics 生徒ソフトウェアをログイン時に実行するシンクライアント デバイスを環境設定します
TeAcHeR	Faronics 教師ソフトウェアをログイン時に実行するシンクライアント デバイスを環境設定します
PaSsWoRd	セキュリティパスワードの指定を可能にします
アンインス トール	シンクライアントデバイスが Faronics ソフトウェアに読み込みできな くなるように環境設定します
QUIET	サイレント環境設定を実行します(これは指定された最後のオプショ ンでなければなりません)



3. LskTSDat.ini file

前述の「手動構成」で Faronics の構成ファイル (C:\Program Files\Faronics \LskTSDat.ini.)を編集します。各シンクライアントで SetupTSClient.exe を実行したくない場合は、メモ帳などのテキストエディタで LskTSDat.ini を直接編集します。

ファイル内に各シンクライアント用にエントリーがあり、これが Faronics 生徒または 教師用のソフトウェアのいずれかを実行します。.ini ファイルのフォーマットは次の通 りです:

[Faronics TSClient List]

THINCLIENT001001=Teacher, Channel=1, Name=Teacher1 THINCLIENT 001002=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT001002 THINCLIENT 001003=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT 001003 THINCLIENT 001004=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT 001004 DEFAULT=Student, Channel=1, Name=Default

各ラインの最初の部分 (この例では THINCLIENT001001) はそのシンクライアントの 「クライアント名」です。各シンクライアントデバイスには、製造業者が設定した、あ るいはハードウェア環境設定時に設定された独自のクライアント名があります。この 名前は、デバイスにログインし、コマンドプロンプトから「設定」コマンドを入力し て見つけられます。多くの IT 部門では、各シンクライアントデバイスのクライアント 名のリストがあります。

クライアント名「デフォルト」はデフォルト設定として使用することが可能です。シン クライアントが LskTSDat.ini ファイル内でシンクライアントを見つけられない場合、 デフォルト入力の環境設定であると推測します(もしそのような入力が存在する場合)。

注意:シンクライアントデバイスの中にはデバイスに独自のクライアント名を設定する 構成が必要な場合があります。Faronics は全てのシンクライアントデバイスに独自の クライアント名を持たせる必要があります。シンクライアントデバイスの書類を確認 し、各デバイスが独自のクライアント名を所有していることを確認して下さい。

クライアント名をタイプした後は、シンクライアントデバイス上で実行する Faronics ソフトウェアのタイプです(生徒または教師のいずれか)。次のパラメータがそのシン クライアントに使用する Faronics チャネルを定義します。一般的に、同じクラスルー ム内にあるシンクライアントのデバイスはすべて、同じチャネル番号を持っています。

最後のパラメータは Faronics 表示名を定義します。生徒はログイン名とこの名前の両 方と一緒に教師用コンソールに表示されます。デフォルトでは、クライアント名を使 いますが、もっと意義深い名前を希望する場合、変更が可能です。

複数の Terminal Server

負荷分散(同じ教室で、複数の Terminal Server を使用する場合)を行っている場合、 すべての Terminal Server に Faronics Insight ソフトウェアをインストールし、すべて の Terminal Server で LskTSDat.ini ファイルの変更を完了する必要があります。多数 の Terminal Server を負荷分散に使用している場合は、共通の LskTSDat.ini ファイル を Faronics Insight で共有する設定が可能です。



Insight を負荷分散の対象となる複数の Terminal Server にインストールする方法は、次の2種類が用意されています。

- 標準のインストール方法を使用し、各システムの接続先サーバーを指定します。
- 複数のサーバーで ini ファイルを共有する方法もあります。この方法ではレジストリ に変更を加える必要があります。

リモートにある.iniファイルを使用するには、サーバークラスター内の各 Terminal Server のレジストリに、次のキーを追加する必要があります。 HKEY LOCAL MACHINE\SOFTWARE\Insight\RemoteIniPath

ファイルの種類を REG_SZ にし、共有 ini ファイルのパスを設定する必要があります。 ini ファイルの名前が LskTSDat.ini になる点は同じですが、この設定をすることでリ モートにある ini ファイルを指定できます。例の表記は、Windows でリモートの ini パ スに命名する際の通例に準じたものです

次に2点ほど例を示します。

""\\?\UNC\xpprosp3-3\Data

この例ではコンピュータ xpprosp3-3 上にある、リモートの共有データ Data を指定し ています。

C:\Program Files\Insight

この例ではローカルにあるファイルを指定しています。

ターミナルサーバーの Insight アップグレード

TerminalServices.msi は教師、生徒の両方に更新ファイルをインストールするので、このインストールが完了すると、教師も生徒も更新されます。

既に SetupTSClient.exe を正常に実行している場合は、再度これを実行する必要はあり ません。SetupTSClient.exe は実際には何もファイルをインストールせず、ターミナル サーバーの LskTSDat.ini ファイルのエントリ設定のみを行うので、リモートセッショ ンが開始すると、Insight は教師または生徒のどちらを起動するのかを把握し、正しい チャネルに設定します。LskTSDat.ini に教師と生徒が既に正しく設定されている場合 は、再度 SetupTSClient.exe を実行する必要はありません。TerminalServices.msi のみ を実行すると、教師と生徒の両方が更新されます。

シンクライアントにおける制限

シンクライアントに対して全ての Faronics 機能を実施できるように努力をしています が、制限もあります。以下はシンクライアント上で動作しない機能をまとめたリストで す。

- 無音化
- USB 制限
- プリンター制限
- 電源
- シャットダウンまたは再起動
- 生徒チャネルの変更(現在.iniファイルから可能)



- 生徒表示名の変更(現在.iniファイルから可能)
- 拡張生徒硬化(シンクライアントデバイスはサーバからロックダウンされると仮定)
- Chrome でのウェブの制限



Faronics Insight を NComputing デバイスにインストール

NComputing は、各バーチャルデスクトップをホストする中央サーバに、直接またはイー サネット経由で多数のアクセスデバイスを提供します。これらのデバイスには、L、M、 および X シリーズのコンピュータが含まれます。NComputing デバイス向けのサポート は、設置されているハードウェアの世代と vSpace ソフトウェアのデバイスモデルとバー ジョンによります。このサポートはどちらかと言うとダイナミックであるため、Faronics のこのバージョンでサポートされているハードウェアモデル、オペレーティングシステ ムおよび vSpace ソフトウェアの組み合わせについての最新情報は、 https://support.faronics.com で FAQ ページの NComputing マトリックスを参照して ください。

L および M シリーズ

L および M シリーズのプラットフォームでは、単独のホストコンピュータを複数ユー ザーで共有できます。標準イーサネットインフラストラクチャにより、クライアント ハードウェアはホストに帰属しています。L および M シリーズ構造は標準ターミナル サーバと同様なため、初めに Faronics ファイルを TerminalServer.msi パッケージが 入ったL および M シリーズのホストコンピュータにコピーしなければなりません。

X シリーズ

X シリーズのプラットフォームでは、単独のコンピュータを最大 11 ユーザーで共有で きます。ホストマシンには、X シリーズ PCI カードが最大 2 枚インストールされていま す。ソフトウェアをホストの全てのクライアントにインストール後、ホストを再起動 し、全てのユーザーは再度ログインします。インストールの方法はターミナルサーバの インストール(上記に詳細説明済み)の方法と同様です。初めに Faronics ファイルを TerminalServer.msi パッケージが入ったホストコンピュータにコピーしなければなりま せん。それから SetupTSClient.exe ユーティリティを使用してクライアントマシンの環 境設定を行います。



安全モードでの Faronics Insight のインストール

Faronics Insight は、希望に応じて追加レベルのセキュリティをインストールする能力 を持っています。2つのモードが利用でき、「パスワード安全」と「アクティブディレ クトリ安全」、そしてその一方または両方を選択することができます。オプションが適 切にインストールされていない場合、教師が望むチャネル上で通信できず、生徒にア クセスできなくなります。

パスワード安全モードを選択する

このモードには,特定のチャネルの生徒を見るコンソールが立ち上げられると、教師が パスワードを入力しなければならない機能が付いています。この機能により、非認証 コンソールの使用を防ぐ特別な安全レベルを追加します。

インストールステップ:

- teacher.msi または student.msi ファイルのいずれかをダブルクリックし、上述の とおりインストールを設定します。パスワードで保護されたバージョンをインス トールする場合には、「安全モードを有効化する」をチェックしてください。
- 2.「パスワード安全モード」を選択します。
- 3. パスワードを入力し、確認のため再度入力してください。
- 4. 教師用または生徒用のコンピュータにこれらのステップを繰り返します。

*Insight Connection Service (ICS) を使用して Insight をインストールする場合は、ICS のインストール中に同様の手順で「パスワード安全モード」を選択する必要があります。ICS 用に構成されたパスワードは生徒用のパスワードと一致する必要があります。 一致しない場合は教師システムと生徒システムの間で通信ができません。

教師用コンピュータが「生徒になる」機能を使い、なおかつ安全であるためには、教師用インストール上でパスワードが要求されます。

教師がコンソールを立ち上げる、またはチャネルを変更する際に、特定のチャネルや チャネルのグループ上の生徒を見るためにはパスワードが要求されます。

スクリプトまたはアクティブディレクトリを使用して教師用または生徒用コンピュー タ上にパスワード保護バージョンをインストールするには、「MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する」の項を参照して下さい。

.adm または .admx テンプレートを Insight 安全バージョンで使用するには、**コン** ピュータポータルにログインし、.adm または admx ファイルのパスワード欄に入れる キーを生成しなければなりません。

パスワード安全モードで、教師または生徒のみで、両方がインストールされていない 場合、教師は生徒にアクセスできません。これは、生徒アイコンの「セキュリティ ロックアウト」アイコンに表示されています。生徒のバージョン番号をチェックする と、これが当てはまるか確認することができます。生徒システムトレイ内のアイコンの 上にマウスを当てると、次のようにバージョン番号が表示されます:

v8.0.0.20Ls、v8.0.0.20Sd または v8.0.0.20Sds



小文字は安全識別子で、"s" は「パスワード安全モード」を、"d" は「アクティブディ レクトリ安全モード」を、"r" は Insight Connection Service を介して接続されるときの 教師用および生徒用のバージョンを示します。

大文字のLとSは、実際には安全識別子ではなく、選択されている Insight インストールを意味しています。L はライトバージョンの意味で、S はサブスクリプションライセンスの意味です。システムは、安全モデルに合致しないデバイスをロックアウトします。安全ロックアウトの問題を修正するには、安全モードオプションを修正するため生徒は再起動しなければなりません。

注意:教師のパスワードが漏れた場合、新しいパスワードで教師用と生徒用の両方を再 インストールする必要があります。

アクティブディレクトリ安全モード

認証された教師のみが生徒を制御できるようにするため、Faronics Insight は Windows アクティブディレクトリに梃入れできます。このモードは、非認証コンソールの使用を 防ぐ特別な安全レベルを追加します。また、このモードはアクティブディレクトリード メイン環境でのみ機能します。

このモードを完全に環境設定するには、ドメインユーザーグループを作成・追加するド メイン権利をもっていなければなりません。

インストールステップ:

- teacher.msi または student.msi ファイルのいずれかをダブルクリックし、上述のと おりインストールを設定します。パスワードで保護されたバージョンをインストー ルする場合には、「安全モードを有効化する」をチェックしてください。
- 2. アクティブディレクトリ安全モードを選択します。
- 3. 教師用または生徒用のコンピュータにこれらのステップを繰り返します。

*Insight Connection Service (ICS) を使用して Insight をインストールする場合は、ICS のインストール中に同様の手順で「アクティブディレクトリ安全モード」を選択する必 要があります。ICS をホストするシステムはドメインのメンバーであり Insight 教師グ ループを参照できる必要があります。できない場合は教師システムと生徒システムの間 で通信ができません。

スクリプトまたはアクティブディレクトリを使用してアクティブディレクトリ安全モー ドを教師用または生徒用にインストールするには、「MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する」の項を参照して下さい。

このモードの時に、教師は必ず「Faronics 教師」のドメインユーザーグループのメン バーでなければなりません。教師がそのグループのメンバーでない場合、アクティブ ディレクトリ安全モードの生徒はその教師とはインタラクトできません。

適切な Windows サーバ アクティブディレクトリツールを使って「Faronics 教師」ドメ インユーザーグループを作成します。グループを作成後、適切な教師と一緒にグループ を表示するために同じツールを使うことができます。



パスワード安全モードは、生徒と教師両方がこのオプションでインストールされてい ることを要求しますが、アクティブディレクトリモードは少し違います。生徒がアク ティブディレクトリ安全モードを有効化しているとき(または「Insight 教師」グルー プの一員でないとき)、アクティブディレクトリ安全モードでインストールしていない 教師は安全ロックアウトされます。この制限は反対方向では行われません。アクティ ブディレクトリ安全モード教師(「Insight 教師」グループの一員)は、アクティブディ レクトリ安全モードを有効化していない生徒を制限なしに制御することができます。

注意: アクティブディレクトリ安全モードは Mac ユーザーの教師、Mac の生徒、 Chromebooks、Android または iOS には利用できません。



Faronics Insight を Windows コンピュータからアンインストール

Faronics ソフトウェアが許可を受けずに削除されることを防ぐために、インストール は改ざん不可になっています。よくある Windows 内の追加や除去のプログラムを使用 する代わりに、Faronics ではソフトウェア削除の際にはオリジナルのインストール パッケージがなければなりません。

.msi install インストールパッケージは、トグルスイッチのような働きをします。 Faronics Insight を Windows コンピュータからアンインストールするには、製品を最 初にインストールしたのと同じファイルをダブルクリックし、インストールプログラム を再度インストールするだけです。これによりソフトウェアは削除されます。ファイル を選択し再作動させると、ソフトウェアは再インストールされます。

ダウンロードパッケージが手元にない場合、カスタマーポータル内のカスタマーアカウ ントから再度ダウンロードします。ご自分のアカウントにアクセスできない場合、テク ニカルサポートにお問い合わせいただくと.msiファイルの写しを提供いたします。イ ンストールされているソフトウェアの完全なバージョンを知っている必要があります。 これは、教師用コンソールの生徒リスト表示内、またはローカルではシステムトレイ内 のFaronics アイコンの上にマウスを当てて見ることができます。このリリースのバー ジョンは、8.0.0.15 に似ています。

生徒たちが「お忍びモード」でインストールされている場合、Insight アイコンはシステムトレイ内に表示されません。生徒が「お忍びモード」でインストールされているか調べるには、教師用コンソールのリストに記載されているか参照するだけです。なんらかの理由で記載されていないがインストールされている場合、確認方法はふたつあります。生徒のタスクマネージャにアクセスできる場合(通常は CTRL-ALT-ESC を使うとできます)、student.exe と呼ばれるプロセスのもとにエントリーがあり、これによりInsight がインストールされていることが分かります。

タスクマネージャにアクセスできない場合、「生徒診断」と呼ばれるユーティリティフォルダにツールがあります。このプログラムを生徒用コンピュータで動作すると、最初に利用できるテストは「ローカルインストールのテスト」です。このテストでは、 Insight がインストール・作動しているか、またチャネル番号やバージョン、その他関連データが分かります。このツールを使用の際にはテクニカルサポートに問い合わせてヘルプを受けてください。

「マイ コンピュータ」で、Faronics 製品をダウンロードした場所に行き、teacher.msi をダブルクリックします。

- 1. 教師用コンピュータを使っている場合、teacher.msi *を動作させます。*生徒用コン ピュータを使っている場合、student.msi *を動作させます。*
- 2. ソフトウェアを削除するよう指示されますので、次にをクリックしてください。
- 3.「削除」をクリックします。
- 4. 「終了」をクリックします。

スクリプトを使って無音で Faronics Insight をアンインストールするには、以下のパラ メータで Msiexec.exe を動作させます:

Msiexec.exe /x "<パスから teacher.msi>\teacher.msi" /qn へ

Msiexec.exe /x "<パスから student.msi>\student.msi" /qn へ



Mac への Faronics Insight のインストール

Faronics Insight は、Mac コンピュータ上の生徒に対して、教師としてまたこのプラットフォームを動作させている生徒のサポートとして監視・管理の両方を行う能力を 持っています。Mac のインストールプロセスは Windows のインストールに似ていま すが、少し違いがあります。

注: Mac 用の Insight ユーティリティは、insight_teacher.dmg の Utilities フォルダ内 にあります。

手動インストール

カスタマーポータルから Faronics インストールファイルをダウンロードし、そのファ イルを解凍します。

教師のコンピュータへのソフトウェアのインストールは次の手順で行います:

- 1. Mac フォルダから insight_teacher.dmg を Mac 教師用コンピュータにコピーします。
- 2. insight_teacher.dmg をダブルクリックします。
- 3. insight_teacher.pkg をダブルクリックします。
- ソフトウェアライセンス契約のインストールウィザードに従います。ライセンスの 条件を読んだら、*継続と同意*を選択します。
- 5. 教師のチャネル番号(1~16,000)を入力します。各クラスルームに固有の番号を 選びます。
- 6. 希望する場合、欄をチェックして*詳細オプション*を設定します。これらオプション は、前述の「MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量設置する」 の項と同じです。また、これらオプションは教師が生徒になるケースまたはこの教 師がリモートで生徒を更新するケースと関連しています。
- 7.「続行」をクリックします。インストールロケーションは変更できません。Faronics をシステムドライブに必ずインストールしてください。
- 8. 「インストール」をクリックします。インストーラが、コンピュータの管理者証明 書を尋ねてきます。ユーザー名とパスワードを入力して、OK をクリックします。
- 9. インストール成功後に閉じるをクリックします。

デフォルトでは、教師はチャネルを変更不可能な状態でインストールされています。 教師にチャネル変更権や複数のチャネル閲覧を許可したい場合、insight_teacher.dmg パッケージ内のユーティリティフォルダ内にある EnableChannelSelect ユーティリ ティを動作させなければなりません。

ツールは、管理者権限で作動させなければなりません。

生徒のコンピュータへのソフトウェアのインストールは次の手順で行います:

- 1. Mac 生徒用コンピュータヘ insight_student.dmg をコピーします。
- 2. insight_student.dmg をダブルクリックします。


- 3. insight_student.pkg をダブルクリックします。
- 4. ソフトウェアライセンス契約のインストールウィザードに従います。ライセンスの 条件を読んだら、*継続と同意*を選択します。
- 5. 欄をチェックして生徒を望むように設定してください。利用可能なオプションのリ ストと説明については、「MSI を利用して Faronics Insight をスクリプトまたは大量 設置する」の項を読み返してください。
- 6. 続行をクリック。インストールロケーションは変更できません。Faronics をシステ ムドライブに必ずインストールしてください。
- 7.「インストール」をクリックします。インストーラが、コンピュータの管理者証明書 を尋ねてきます。ユーザー名とパスワードを入力して、*OK*をクリックします。
- 8. インストール成功後に閉じるをクリックします。

注意:ファイルボールトがオンになっているユーザーアカウントからインストールされ た場合、Mac 生徒用インストールは適切に動作しません。これは Apple のバグで、 「Insert the <username> disk (ユーザー名ディスクを挿入してください)」と表示され ます。

キーストローク監視とキーボードブロッキングの有効化

OS X 10.9 (Mavericks) 以降のセキュリティの変更により、Faronics Insight Mac Student は、デフォルトでキーボードのブロックやキーストロークのモニターができなく なりました。この機能は、[システム環境設定] で Faronics Insight Student をアクセシビ リティアプリケーションとして承認することで有効にできます。

- 1. Insight Mac Student (version 7.7.4 以降) をインストールした後、Apple メニューか らシステム設定を開きます。
- 2. 「Security & Privacy」アイコンをクリックします。
- 3. 「Privacy」タブを選択します。
- 4. 「Privacy」ペインの左方のリストから「Accessibility」を選択します。
- 5. ウィンドウの左下にあるロックアイコンをクリックし、指示に従って管理者アカウ ントとパスワードを入力します。
- 「Accessibility」アプリケーションのリストで「Insight」の横にあるチェックボック スをオンにします。許可を有効にするにはログアウトする必要があります。

自動インストール

insight_teacher.pkg および insight_student.pkg はデスクトップ管理アプリケーション を使って , カスタマイズしてインストールすることもできます。

このパッケージのカスタマイズは、次の手順に従います:

- 1. insight_teacher.dmg または insight_student.dmg. をダブルクリックします。
- 2.「カスタムパッケージを作成」をダブルクリックします。
- 3. インストール ウィザードに従い適切なオプションを選択します。
- 4. パッケージに名前を付け保存します。

この作業により、選択した設定でインストールされたカスタムパッケージが作成されます。



Mac からの Faronics Insight のアンインストール

コンピュータ上のダウンロードした .dmg ファイルが保存されているフォルダに移動し ます。

- 1. 教師用コンピュータの場合は、insight_teacher.dmg をダブルクリックします。
- 2. 生徒用コンピュータの場合は、insight_student.dmg をダブルクリックします。
- 3. 「アンインストール」をクリックします。
- 4. はい、アンインストールします をクリックします。
- 5. 管理者ユーザー名とパスワードをタイプしてください。
- 6. OK をクリック。



Faronics Insight を iOS デバイスにインストール

Insight は、Apple iPad、iPhone または iPod 用に Student と Teacher's Assistant を無 料で提供しています。以下の能力は、現在の Insight v7.5 および以降の環境でしか動作 しません。

インストール

iOS 生徒

生徒インストールは、Apple の iTunes App Store から簡単にダウンロードできます。

1. デバイスから、Insight 生徒を App Store からダウンロード、インストールします。

Teacher's Assistant

Teacher's Assistant のインストールは2つのステップで行われます。

- デバイスからは、Insight Teacher's Assistant を App Store からダウンロード、インストールします。
- 2. Windows または Mac コンピュータのいずれかに動作している Insight 教師用コン ソールの Teacher's Assistant のペア。

Teacher's Assistant と教師用コンソールをペアにする

Teacher's Assistant は Teacher Console とペアリングしない限り Insight Student を検 出しないため、Teacher Console とペアリングすることが重要です。生徒のインター ネットアクセスを制限する設定やアプリケーション.の用途を限定する設定は、 Teacher Console から行えます。

- 1. Insight 教師用コンソールを Windows または Mac コンピュータ上に起動します。
- 管理者メニューから、「Teacher's Assistant アプリケーションの管理」を選択します。iOS デバイスを承認するウィンドウが起動されます。
- 3. iOS デバイスを組織のワイヤレスネットワークに接続します。
- 4. iOS デバイス上の教師アイコンをクリックして、Teacher's Assistant を起動します。
- 5. iOS デバイスは、UDP ポート 2426 を使用して、ネットワーク上で利用できる教師 用コンピュータを見つけ、リストします。適切な教師用コンピュータをリストから 選択します。
- 6. iOS デバイス上にパスコードが生成され、表示されます。
- PC または Mac の「Teacher's Assistant アプリケーションの管理」ダイアログ内に I、iOS デバイスがウィンドウ内に表示されます。デバイスを選択し、「承諾する」を クリックします。
- 8. iOS デバイス上で生成されたパスコードをタイプし、OK をクリックしてください。



Teacher's Assistant が教師用コンソールとペアになると、アシスタント起動時には常 に自動的にペアが発生します。iOS デバイスと教師のペアを中止するには、「Teacher's Assistant アプリケーションの管理」メニュー内の iOS デバイスを選択し、「削除」を クリックします。

ペア作成が完了すると、Teacher's Assistant は教師チャネル上の全生徒用コンピュー タを見つけ、適切な機能設定をダウンロードします。この時点で、Teacher's Assistant は教師用コンソールが閉じられていても機能を行うことができます。しか し、Teacher's Assistant のアプリケーションが閉じられていると、Teacher's Assistant のアプリケーションを再開する前に、Mac または PC で教師用コンソールを 開始しなければなりません。

機能

教師用コンソールとペアになっている Teacher's Assistant のアプリケーションでは、 以下の機能を実行できます。

- 生徒用コンピュータを見つける
- 生徒画面のサムネイルを表示する
- 画面をブランクにする
- 投票
- ウェブを制限する
- アプリケーションを制限する
- メッセージの送信
- 詳細表示
 - > 最後に使われたアプリケーション
 - > 最後に訪問されたウェブサイト
 - > 電池情報
- 生徒の質問
- テスト送信
- 生徒をリモートコントロールする
- 教師をリモートコントロールする

操作のために生徒を選択する

生徒用コンピュータで機能を実行するには、ひとりの生徒を選択するか、全生徒を選 択するかのどちらかができます。学生を選択するには、サムネイルに触るだけです。 選択を解除するには、再びサムネイルに触ります。サムネイルが直接選択されない場 合、全選択が実行されます。

適切なサムネイルを選択したら、有効化したい機能のアイコンに触ってください。こ の機能をオフにするには、機能のアイコンにもう一度触ってください。ある機能を設 定したい場合には、数秒間機能アイコンをタッチし続けると設定ダイアログが表示さ れます。



画面をブランクにする

ブランクの画面メッセージは教師用コンソールから引き出されません。しかし、メッ セージは、「設定」メニューまたはメッセージ選択欄を数秒間タッチし続けるかのいず れかの方法で Teacher's Assistant から修正、選択することができます。

投票

○ × 式、多項選択または口頭による質問を生徒に送ることができます。生徒の結果は Teacher's Assistant にリアルタイムで表示されます。

メッセージの送信

カスタマイズのメッセージを、1名、複数、または生徒全員に送信することができま す。生徒を選択するか、生徒を選択せずに「メッセージ送信」アイコンに触り、「全員 に実行する」を使用します。メッセージを入力するか、現存のメッセージを選択し、 「送信」ボタンを押します。

アプリケーションを制限する

Teacher's Assistant が教師用コンソールとペアになっているとき、現在のアプリケー ション制限設定が教師アシスタントにダウンロードされます。選択される生徒へのアプ リケーションを制限するには、アプリケーション制限のアイコンに触ってください。ア プリケーション制限のアイコンはサムネイルに表示されます。アプリケーション制限を 停止するには、アプリケーション制限のアイコンに再度触れてください。

ウェブ制限

Teacher's Assistant が教師用コンソールとペアになっているとき、現在のウェブ制限 設定が教師アシスタントにダウンロードされます。選択される生徒へのウェブを制限す るには、ウェブ制限のアイコンに触ってください。ウェブ制限のアイコンはサムネイル に表示されます。ウェブ制限を停止するには、ウェブ制限のアイコンに再度触れてくだ さい。

詳細表示

電池情報、最後に使ったアプリケーションや最後に訪問したウェブサイトのような生徒 についての詳細を表示するには、サムネイルを2回軽く叩いてください。

生徒の質問

生徒は、自分のコンピュータ上の Insight アイコンをクリックし、教師への質問をタイ プすることにより、電子的に挙手することができます。その質問は Teacher's Assistant 上に表示されます。



生徒をリモートコントロールする

生徒1人をリモーコントロールします。言い換えれば、選択した生徒のコンピュータ 上のマウスやキーボードをリモートで使用することができます。Insight ならば、ログ インのプロンプトでコンピュータをリモートコントロールすることさえできます。

リモートコントロール中にコンピュータに CTRL-ALT-DEL コマンドを送信するには、 キーボードのアイコンを使用してこれらのキーを選択してコマンドを送信する必要が あります。

教師をリモートコントロールする

Insight Teacher's Assistant アプリとペアになっている教師用マシンをリモートコント ロールします。この機能を使用するとクラス内の教師は移動がしやすくなります。リ モートコントロール教師では Insight 教師用コンソールの全機能をリモートで使用した り、教師用マシンで起動中のあらゆるアプリケーションを教師アシスタントアプリか らリモートで使用できます。



Insight を Android デバイスにインストールする

Insight は Android タブレット用の無料の生徒アプリを提供しています。次のプラット フォームを使用して特定の Android の検証が実施されました。Samsung Galaxy タブ レット、Lenovo タブレット、Google Nexus タブレット、および Amazon Kindle Fire タブレット。

以下の機能は、現在の Insight v7.7 および以降の環境でしか動作しません。

インストール

生徒版のインストールは Google プレイストアから簡単にダウンロードできます。 Android デバイスから Google プレイストアにログイン後、Insight Student をダウン ロード、インストールします。Android は v8.0 の Insight コネクションサーバーモード でのみサポートされています。

機能

Insight Android 生徒で利用可能な機能:

- 教師用コンソールで Android サムネイルを表示
- 「教師を表示」画面のブロードキャストを受信
- 「生徒を表示」画面のブロードキャストを受信
- 教師からメッセージを受信
- Insight Teacher が実施するテストの受信
- 教師に質問する
- リアルタイムの提出に往信する
- ブランク画面
- チャット
- ランダムに生徒を選択
- クラスのチャネル変更
- 在庫情報の収集
 - > 現在起動中のアプリケーション
 - > ネットワーク情報
 - > 電池情報



Insight Chromebook Student のインストール

Insight は Chromebook 用の Student アプリを提供しています。Insight は Chrome 46 以降をサポートしています。

Insight Chromebook Student は Insight 環境内で動作し、Mac、Windows、iOS および Android の Insight Student と同様の機能を多数提供します。

以下の機能は、現在の Insight v7.8 以降の環境でしか動作せず、Insight Connection Service が必要です。

要件および設定

次のソフトウェアのインストールを続ける前に、Insight Connection Service がインストールおよび設定されている必要があります。Connection Service の設定でわからないことがあれば、Insight の営業担当者またはサポート担当者にご連絡ください。

ソフトウェアの手動インストール

(注意 : Google Apps for Business または Google Apps for Education を管理するため に Google 管理コンソールを使用している場合は、「Google 管理コンソール」セクショ ンをスキップできます。)

これで、Insight Chromebook Student ソフトウェアをインストールする準備ができました。

- 1. Chromebook にログインします。
- 2. ログインしたら、「アプリ」アイコンをクリックします。



3. 次に「ストア」アイコンをクリックします。



 Google ウェブストアで、「Insight」を検索します。2つのアプリケーションが表示 されます。Insight Student と Insight Web Helper 拡張です。「Insight Student」を 選択してください。Web Helper 拡張については後で説明します。

ストアでアプリケーションが見つからない場合は、下記の URL を直接入力して移動 できます。

https://chrome.google.com/webstore/detail/Insight-student/ifeifkfohl obcbhmlfkenopaimbmnahb?authuser=1

- 5. 上記は Chrome 生徒インストールページに移動します。
- 6. インストールページで「+ 無料」ボタンをクリックして、インストールプロセスを 開始します。



- 7.「Insight Student」をインストールするかどうかを尋ねるダイアログが表示されます。使用許諾に同意する場合は、「追加」ボタンをクリックしてインストールを開始します。ダウンロードには数分間かかります。完了すると、アプリリストに Insight Student アイコンが表示されます。
- ほとんどのインストールではインストールが完了すると自動的に Insight Student が 開始されますが、開始しない場合はアプリウィンドウでアイコンをクリックして開 始してください。ロードが完了すると、タスクトレイに Insight Student アイコンが 表示されます。

重要な注意: 画面共有は Insight Chromebook student の一部であり、デフォルトで は、教師用コンソールで「Active browser tab」が共有されます。「Active browser tab」の共有では、エンド・ユーザーの代わりに権限は必要ありません。

「Full screen」オプションを有効にすることによって実行される Chromebook student の画面全体を表示することを希望する場合、「Insight Student は、画面の内 容を共有することを望んでいます。共有する内容を選択してください。」というメッ セージが表示されます。これは Chrome のセキュリティ機能で、Student を立ち上 げるたびに一度だけ質問されます。「Share」を選択すると生徒のデスクトップのサ ムネイルが教師に送信されます。「Cancel」を選択するとデスクトップ共有機能が無 効になります。「Share」を選択した場合、左下の小さなウィンドウに「Insight Student が画面を共有しています」と表示されます。このウィンドウの「x」をク リックすることで、Student の機能に影響を及ぼすことなくウィンドウを閉じるこ とができます。

Insight Web Helper のインストール

Insight Web Helper では、ウェブ制限、ウェブ履歴、URL の実行および画面共有機能 (Active Browser tab) が必要です。Web Helper 拡張のインストールは生徒のインストールと似ています。

1. Chrome ウェブストアで「Insight」を検索すると、「Insight Web Helper 拡張」が表示されます。見つからない場合は、下記の URL を Chrome で開きます。

https://chrome.google.com/webstore/detail/Insight-web-helper/honjcnef ekfnompampcpmcdadibmjhlk?authuser=1

- 2. 上記は Web Helper のインストールページに移動します。「+ 無料」をクリックして インストールを開始します。
- 3.「新しい拡張機能の確認」ダイアログが表示されたら、「追加」をクリックします。
- 4. インストールが完了すると、「Insight Web Helper が Chrome に追加されました」と いうウィンドウがポップアップします。

これで、Chrome 用の Insight Student のインストールが完了しました。ソフトウェアの構成に進んでください。

ソフトウェア構成

Chrome 用 Insight Student は、Insight Connection Service との通信を構成してはじめ て教師用コンソールに表示されます。この構成ステップを行うには、Connection service の IP アドレスまたはネットワーク名、および接続ポートの情報が必要です。典 型的なポートは 8080 ですが、ネットワーク管理者が異なる構成をしている場合はその 情報が必要です。



- 1. Student を構成するには、生徒アイコンをクリックしてメニューを表示し、メ ニューの「Preferences」オプションをクリックしてください。
- 2. 基本設定ウィンドウを開くと、次のような構成ができます。
 - > Device ID アプリにコーディングされていて、各インストールにつきユニーク です。変更はできません。
 - Connection service host 必須です。接続サービスのネットワークアドレスに設定されている必要があります。
 - Connection service port 必須です。接続サービスホストで構成されたポートに 設定されている必要があります。
 - Screen sharing この機能により、「Active browser tab」と「Full screen」共有のいずれかを選択できます。
 - > Demo mode このオプションにチェック・マークを付けると、生徒がデモ教師 と通信できるようになります。
- 構成が完了したら、「Save」ボタンをクリックして、変更を保存します。(生徒ソフトウェアをアンインストールするとすべての設定が失われ、後でソフトウェアを再インストールする場合には設定を再入力する必要がありますので、ご注意ください。)
- 設定を保存すると、生徒ソフトウェアは Connection Service との通信を始めます。 教師用コンソールが Connection Service を使用するように既に構成されている場合、1、2分で生徒が表示されます。1、2分で表示されない場合は、教師画面を更新してください。(教師用コンソールは <F5> を押して更新できます)

機能

Insight Chromebook Student で利用可能な機能:

- 個々の生徒のヘルプ-生徒は教師とメッセージをやりとりして連絡を取り合えます。
 生徒は無言で質問を送信したりヘルプを求めたりできます。生徒が質問を送信する
 と教師用コンソールに小さなクエスチョンマークが表示されます。
- 生徒のサムネイルを表示 教師用コンソールに生徒のサムネイルが表示され、教師 は生徒たちの作業の概要を把握できます。
- 生徒の詳細を表示 Chromebook 生徒の詳細ビューには、生徒の名前、コンピュー タ名、最後にアクセスしたウェブサイト、最新の質問および教師チャネルが表示さ れます。
- テスト Insight Teacher は Chromebook 生徒にテストを送信し、回答を回収できます。テスト問題は〇×式、多項選択、短い回答、エッセイで作成できます。各テスト問題に画像を添付することもできます。
- 教師画面の表示 Insight Teacher には、生徒全員または一部と画面を共有し追従を 許可する機能があります。



- ウェブ閲覧 一時的に生徒の全員または一部のウェブアクセスブラウザを使用不可にします。教師は生徒が閲覧するサイトを制御したり、特定のサイトに誘導したりできます。
- インターネット履歴 選択した生徒が訪問したウェブサイトの検索可能な一覧を表示し、ファイルに保存できます。
- ブランク画面 教師はすべての生徒の画面をブランクにし、キーボードとマウスを 使用不可にできます。
- URLの実行 この機能により教師は生徒のコンピュータ上でウェブサイトを実行できます。
- キーストローク警告-キーストローク警告タブにより、禁止用語のリストを指定で きます。生徒が禁止用語を入力すると、その生徒のサムネイルに黄色の警告アイコンが出て教師は通知を受けます。サムネイル上にマウスを移動させると、その生徒 が入力した言葉が表示されます。
- クラスリストサポート Chromebook 生徒は教師のリクエストに応えてクラスに参加します。
- 生徒画面の表示 教師が生徒の画面をクラスの他の全生徒に送信できるようにする 機能です。
- 生徒画面の確認 教師が選択した生徒のコンピュータを表示および監視できます。
- チャット 教師は、教師用コンソールから1人または複数の生徒とテキストベースのチャットセッションを開始できます。
- 生徒画面のスナップショットを保存 生徒の画面を標準の画像ファイルで保存します。(.jpg または.bmp)日付、時刻および生徒のログイン名が保存したファイルに表示されます。



Chromebook 用の Insight Student の自動構成

このセクションでは、Chromebook 用の Insight Student ソフトウェアの自動構成の方法について説明します。

Chromebook (生徒)用 Insight student が Insight 教師用コンソール (教師)と接続で きるようにする前に、Insight Connection Service (ICS) に接続するよう設定される必 要があります。多数の Chromebook をデプロイするのは、気が遠くなる作業です。

多数の Chromebook を起動時に自動的に構成することは可能です。自動構成を可能に する 2 つの方法があります。

- Google 管理コンソールでアプリケーションに基づく設定を設定します(例: https://admin.google.com)。
- Chromebook デバイスでの各セッションの起動時に開く Web ページで、非表示の 構成パラメーターを設定します。

オプション#1-管理コンソールでのアプリケーション固有の設定。

このオプションを使用する場合は、Google Apps for Education または Google Apps for Business のアカウントが必要です。このアカウントにより、Chrome デバイスおよ びユーザーのさまざまなアプリケーションやサービスを管理できます。Google Apps アカウントの詳細については、以下を参照してください。

https://www.google.com/edu/products/productivity-tools/

ユーザーで設定されたアプリのアカウントおよび構成されたデバイスが既にある場合、 以下の手順に従って Insight Student の自動構成を設定できます。

- 1. https://admin.google.com で、アプリのアカウントにサインインします。
- 2. Insight Student と Insight Web Helper の自動インストールを設定します。
- 3. 管理コンソールのホーム画面で、「Device Management」をクリックします。
 - A. 画面の左側にある、「Chrome Management」リンクをクリックします。
 - B.「User Settings」を選択し、次にアプリケーションのインストールを構成する画面の左側にある、対象となる組織を選択します。
 - C.「Force-installed Apps and Extensions」まで下にスクロールして、「Manage force-installed apps」リンクをクリックします。

 Force-installed Apps and
 Bulk install the Apps pack for Business for your organization. Learn more

 Extensions
 2 apps or extensions will be automatically installed. Manage force-installed apps 😡

D.「Chrome Web Store」ボタンをクリックして、検索ウィンドウに「Insight」と 入力します。検索が完了すると、リストに2つのアプリケーションが表示され ます。「Insight Student」と「Insight Web Helper」です。



E. 各アプリケーションの隣にある「Add」リンクをクリックし、次に「Save」ボタ ンをクリックします。

これで、Chrome 用の Insight Student および拡張の「forced-install」が設定されました。

Faronics Insight		👩 Insight Student	Details	Remov
🕅 Insight Student	Details Added	Minsight Web Helper	Details	Remov
Minsight Web Helper	Details Added			

- 4. 次のステップは、Insight Student のアプリケーション設定の構成です。
 - A. 使用する構成ファイルを作成します。これはテキスト・ファイルであるため、次のステップを続ける前にローカル・ハードディスク・ドライブに保存される必要があります。構成ファイルはUTF-8エンコードで保存される必要があります(このセクションの最後にある構成ファイルの例を参照してください)。
 - B. 画面上部にある見出し「Device Management > Chrome」をクリックします。

Google		
	K	Domain is verifie
\equiv Device manage	ement > Chrome > User Settings	S
	SETTINGS for	
	Mobile 😧	

C. 次に「App Management」セクションをクリックします。アプリリストに Insight Student アプリと Insight Web Helper アプリが表示されます。「Insight Student」アプリをクリックします。



D. 設定画面から「User settings」セクションをクリックします。

3	Insight Student Faronics Insight Student application for Chromebook	
User settings Configure this app for user	s that log in with an account in your domain.	
Public session settings	s	
Configure this app for user	s that log in to a public session on your devices.	

- E. ユーザー設定を構成する組織を選択してください。(注:定義した組織ごとに異なる設定を構成できます)。構成設定ウィンドウが表示されます。
- F.「Configure」オプションの下にある「upload configuration file」を選択します。

Orgs	Settings	Settings for independent org		
 faronicstest.com 	Allow installation	Force installation		
another org				
	Setting inherited Override	Setting inherited Override		
	Pin to taskbar	Configure		
	\bigcirc	UPLOAD CONFIGURATION FILI		
	Setting inherited Override	Setting overridden Inherit		
	SAV	E CANCEL		

- G. ステップ1で作成した構成ファイルをアップロードします(以下の例を参照して ください)。ここをクリックするとウィンドウが開き、ローカル・ハードディス ク・ドライブから構成ファイルを選択できるようになります。
- H. 構成ファイルをアップロードしたら、ウィンドウの下部にある「SAVE」ボタン をクリックします。
- 5. 設定のテスト 構成設定が生徒の Chromebook に適用されているかどうかを確認す るための手順は、次のとおりです。
 - A. 構成のために上で選択した組織の生徒のアカウントの1つを使用して Chromebook にログインします。
 - B. Chrome ブラウザを開いて、ナビゲーションウィンドウに「chrome://policy」 と入力します。ユーザー・アカウントのポリシーの画面が開きます。
 - C. 「Reload policies」ボタンをクリックして、最新のポリシー構成であることを確認します。
 - D.「値が設定されていないポリシーを表示する」の右にあるチェックボックスをオンにします。



6. 「Insight Student」の構成が表示されるセクションまで下にスクロールします。

Applies to	Level	Policy name	Policy value	Status
Current user	Mandatory	allow_change_c	false	ок
Current user	Mandatory	allow_preferen	false	ок
Current user	Mandatory	connection_ser	10.0.0.148	ОК
Current user	Mandatory	connection_ser	8080	ОК
Current user	Mandatory	default_channel	5	ОК
Current user	Mandatory	enabled	true	ОК
Current user	Mandatory	full_screen_thu	true	ОК
Current user	Mandatory	password_secu	pwspassword	ОК
Current user	Mandatory	stealth_mode	false	ок

下の構成例から構成した各ポリシー設定が表示されます。ここで設定が表示されない場合は、以下を確認してください。

- > 管理コンソールでポリシーを設定した組織に割り当てられたユーザーとしてログ インしましたか?
- > ポリシー・ファイルでエラーが発生しましたか?(注:管理コンソールではエ ラーの警告は表示されません。jsonlint.com でテストすることにより、ポリ シー・ファイルの形式を確認できます)。
- > ステップ 3.H で説明されている「SAVE」ボタンをクリックすることを忘れてい ませんか?

構成ファイルの例

```
"enabled": { "Value": true },
"default_channel": { "Value": 5 },
"allow_preferences": { "Value": false },
"allow_change_channel": { "Value": false },
"stealth_mode": { "Value": false },
"connection_server_host": { "Value": "10.0.0.148" },
"connection_server_port": { "Value": 8080 },
"full_screen_thumbnail": { "Value": true },
"password_secure": { "Value": "pwspassword"},
"context_data": { "Value": " in here" },
"organization": { "Value": "My Organization" }
"student_privacy": { "Value": true },
}
```



設定の説明

- enabled
 この構成が有効であることを示します(常に "true" である必要があります)。
- default_channel
 起動時に生徒がデフォルトに設定するチャネルです。(true/false)
- allow_preferences
 生徒が基本設定にアクセスすることは許可されていますか?(true/false)
- allow_change_channel
 生徒がチャネルを変更することは許可されていますか?(true/false)
- stealth_mode
 この設定を有効にすると、Insight アイコンと通知が非表示になります。(true/false)
- connection_server_host
 Insight コネクションサーバーへの DNS 名または IP アドレスです。
- connection_server_port

Insight コネクションサーバーのネットワーク・ポートです。

• full_screen_thumbnail

「全画面サムネイル」を有効にします(注:Google ポリシーにより、ユーザーは全 画面の画像を共有するための許可を常に求められます)。

• password_secure

パスワードが空白でない場合、パスワード保護された教師の接続に対して、設定されたパスワードが使用されます。

設定ファイルから password_secure エントリを削除すると、Insight が安全モード に移行することにご注意ください。Insight を安全モードにしたくない場合は、 password_secure パラメータを登録してください。ただし値は空にします。

• tdk_mode

デモモードを有効化 / 無効化します。(true/false)

• context_data

現在は使用されていません。今後のデータのためのプレースホルダーです。

• organization

生徒とやり取りする際に、さまざまな戦略的な場所で表示する組織の名前です。

• student_privacy

「true」に設定されている場合、生徒は、起動時に教師による生徒の画面および画面 のサムネイルの表示を防ぐことができます。生徒がアクセスをブロックしている場 合、教師が生徒の画面およびサムネイルを表示しようとすると、ブランク画面とプ ライバシーメッセージが教師用コンソールに表示されます。



注: Chrome の制限のため、full_screen_thumbnail を選択している場合、設定に かかわらず、生徒には全画面のアクセスを拒否するオプションが常に与えられます。

student_privacy が設定されていない場合、デフォルトでは現在のブラウザのタブ が表示されます。

その他のヒント

Google 管理コンソールで生徒のアカウントを設定するためのその他のヒント

- 1. Device Management > Chrome > User Settings:
- 2. 「シークレット モード」の無効化

生徒のアカウントでは「シークレット モード」を無効にすることをお勧めします。 生徒はこのモードを使用して、Insight Student ソフトウェアで設定されたウェブ制 限を回避することができます。

3.「デベロッパーツール」の無効化

生徒のアカウントでは「デベロッパーツール」のアクセスを無効にすることをお勧めします。このツールが許可されていると、知識のある生徒は、Chrome ブラウザに組み込まれたデベロッパー・ツールを使用して、生徒のアプリケーションを一時的に変更したり無効にしたりすることができます。

オプション #2 - Web ページでの非表示の構成

この方法を有効にするには、生徒が Chromebook にログインすると自動的に開く Web ページに、非表示になっている情報を配置する必要があります。

この手順では、HTML の Web ページを提供できる Web サーバーへのアクセスと、その特定のページに Chromebook の Web ブラウザを動作させる方法が必要です。

自動構成情報は、HTML ページの「メタ」タグに保存されます。「メタ」タグが HTML のヘッダーデータに存在し、適切にフォーマットされている限り、Web ページの他の コンテンツにかかわらず、自動設定は機能します。メタタグはユーザーが Web ページ を閲覧しても表示されません。メタタグの内容に最低限必要な情報の例は、次のとおり です。

<meta name="studentconfig" contents="{ 'ics_host': '[host name]', 'ics_port': [port] }" >

上の例で、「host name」と「port」の値を、お使いの ICS サーバーの IP アドレスまた は DNS 名、およびポートに置き換えます。シングルクォート (') は、構成情報の内容に 使用されています。ダブルクォートは機能しないため、使用しないでください。有効な 構成値については、次の表を参照してください。

• ics_host

シングルクォートで ICS サービスをホストしているマシンの IP アドレスまたは DNS 名です。(例: '10.0.0.5' または 'server.myschool.com')



• ics_port

ICS サービスの引用符で囲まれていない数値のポート。設定しない場合、生徒はデフォルトのポート値である 8080 を使用します。(例:8080)

• change_channel

生徒がチャネルを変更できるかどうかを示します。引用符で囲まれていないブール 値:true または false 。(例:true または false)

• channel

起動時に生徒が選択するデフォルトのチャネルです。これは1~16,000 までの数 値です。(例:5)

• stealth

生徒はお忍びモードで起動する必要がありますか?(例:メニューなし)引用符で囲まれていないブール値: true または false (例: true または false)

注:この機能は現在出荷されているソフトウェアではまだ使用できません。

• full_screen_thumbnail

これにより、「全画面」のサムネイルが有効になります。注:ユーザーの許可が必要 です。起動時に、ユーザーは画面を共有するように指示されます。ユーザーが拒否 したり、いつでも共有をキャンセルしたりする場合、アプリケーションは現在表示 されているタブのサムネイルに戻ります。

• allow_prefs

これにより、メインメニューの「基本設定」項目を有効または無効にします。false に設定すると、生徒は基本設定メニューにアクセスできません。引用符で囲まれて いないブール値:true または false。(例:true または false)

• password_secure

このオプションは、パスワード安全モードを対象としています。空白の場合、オプ ションは追加されません。

自動構成の最小 Web ページの例は、次のとおりです。

```
<html>
```

<head>

```
<meta name="studentconfig" contents="{'ics_host':'<host name>',
'ics_port':<port>, 'change_channel':false, 'channel':5,
'stealth':false, 'allow_prefs':false,
'password secure':'<password>'}">
```

</head>

<body> </body>

</html>

この Web ページは、ログインまたは認証しなくても、生徒のコンピュータがブラウ ザ・ウィンドウからページに到達できる Web サーバーに配置する必要があります。 Web ページの設定を難読化する場合、準拠する任意のエンコーディングツールを使用 して、「base64」でデータをエンコードできます。生徒は、データがエンコードおよび デコードされていることを検出します。



<metaname="studentconfig" contents="eyAnbGNzX2hvc3QnOiAnMTAuMC4wLjE00CcsICdsY3NfcG9ydCc6IDgwODA sICdjaGFuZ2VfY2hhbm5lbCc6IGZhbHN lLCAnY2hhbm5lbCc6IDUsICdzdGVhbHRoJzogZmFsc2UgfQ==">

このウェブページが配置されたら、Chromebook を設定し、ブラウザウィンドウでこの ウェブページを開く必要があります。最良の方法は、Chrome のブラウザ設定に起動 ページを設定することです。Chromebook の管理コンソールを使用している場合、[ユーザー設定]の下の[起動]セクションで[ホームページ]のオプションを設定でき ます。これにより、Chromebook が起動するたびに自動的に設定ページが開きます。

注: セキュリティのため、Chromebook 用の Insight Student では、1 つのセッション につき1回のみ自動構成データを読み取ります。Web ページで自動構成情報を変更す る場合、まず Chromebook をログアウトし、新しい設定を使って更新するために、も う一度ログインする必要があります。

Web ページ構成を使用した Google 管理コンソールからの自動構成

Google 管理コンソールを使用している場合、生徒を自動構成するための望ましい方法 は、上記で示されている「オプション 1」ですが、「オプション 1」が使用できない場 合、または Web ページ (メタタグ)オプションを使用する場合は、次の方法が役に立 ちます。

- 適切なメタタグを使って、上記の説明に従って Web ページを設定します。この Web ページが、自動構成する Chromebook のウェブブラウザから閲覧できることを 確認します。
- 2. Google 管理コンソールにログインします。
- 3. メインのダッシュボードで、「デバイス管理」をクリックし、リストから 「Chrome」を選択し、次に「ユーザー設定」を選択します。
- 4.「ユーザー設定」ページで、ページの左側にある「組織」ツリーから正しい組織が選択されていることを確認します。
- 5. ページを下にスクロールして、「スタートアップ時に読み込むページ」のセクション を表示します。
- 6. 上記の説明に従って作成したメタタグを含む Web ページの URL を入力します。
- 7. ページの下部にある「変更の保存」ボタンをクリックします。

注:他のポリシー設定によって異なりますが、この変更は数時間以内に Chromebook に 適用されます。Chromebook をログアウトし、再びログインすると、ポリシーは即座に 更新されます。Chromebook でのポリシーの確認や強制的な更新は、Chromebook の 「chrome://policy」ページから実行できます。



Faronics Insight のリモート更新

Insight 生徒の初期インストールとそれら教師用コンソールにあるコンピュータの発見 後、生徒用コンピュータは「リモート更新」機能を使って異なる設定で更新または再 設定されることができます。

選択した生徒の Insight を更新

Insight 顧客により発見・報告されるどんな欠陥や問題にも、頻繁なメンテナンスリ リースで迅速に対応することを目指します。さらに、製品リリースにはこのような大 きな新機能が追加されています。Insight Student のバージョンがデバイスにインス トールされると、その時点から1つの中央「管理者」表示から、または個々の教師用 コンソール表示から新バージョンを実行することが可能です。

現在インストールされているバージョンから最新リリースへ更新するために、リスト から個々の生徒を選択、または生徒の複数グループを選択することができます。これ を遂行するには、特定の生徒用インストールファイルをダウンロードされた場所から 教師がインストールされている場所にコピーするだけです。

注意:生徒用コンピュータ上で Deep Freeze または同様の「ロックダウン」ソフト ウェアを使用している場合は、新しいソフトウェアを生徒用コンピュータにインス トールできるようにするため、このアップデート手順中はそれらを無効化、または 「解凍」しなければなりません。

生徒インストールファイル

ダウンロードの場所から適切な生徒ファイルをコピーし、教師用コンソールがダウン ロードされている場所に移します。生徒ファイルを特定するには:

Windows 教師から実行された Windows 生徒用: student.msi

Mac 教師から実行された Windows 生徒用 : pcupdate.zip および student.msi

Windows 教師から実行された Mac 生徒用: mupdate.zip

Mac 教師から実行された Mac 生徒用: mupdate.zip

Windows 生徒上の Faronics をアップデート

- 1. Faronics Insight の教師用コンピュータへの最新バージョンのインストールから開始します。
- Windows 教師から更新する場合には、ダウンロードロケーション中の student.msi ファイルを Windows フォルダから教師用コンピュータ上の Faronics インストール フォルダにコピーします(デフォルトのフォルダは Windows 上の C:\Program Files\Faronics です。)

Mac 教師から更新する場合には、ダウンロードロケーション中の pcupdate.zip ファイルと *student.msi*ファイルを Mac および Windows サブフォルダから教師用 コンピュータ上の Insight インストールフォルダにコピーします(デフォルトのフォ ルダは Mac 上の Applications\Faronics です。)

3. Faronics コンソール内で、アップデートしたいコンピュータを選択します。



4. 管理者 をクリックし、次に、選択した生徒の Faronics をアップデートメニューオプ ションをクリックします。

この手順は、選択した各生徒あたり数秒かかります。終了したら、表示 続いて更新 (F5) メニューアイテムを押して、生徒用コンピュータ上に新しくインストールした バージョンを確認する必要がある場合もあります。

「選択した生徒メニューで Faronics を更新」を使って生徒を展開すると、生徒に使われた設定は、教師のインストール中に設定した「詳細オプション」と同様のものとなります。

注意:この方法は、生徒用コンピュータで v6.5 以降の生徒が動作している場合のみ有効 です。この方法は、v6.2 の student を v8.0 の student にアップグレードするためには 使用できません。v6.2 から v8.0 へのアップグレードには、ローカルデバイス上でのソ フトウェアの再インストールが必要です。

Mac 上の Faronics をアップデート

- 1. まず、Faronics の最新バージョンを教師用コンピュータに再インストールします(上述の「Faronics 教師のアップデート」の項を参照)。
- 次に、mupdate.zipをMacディレクトリから教師用コンピュータ上のFaronicsインストールフォルダにコピーします(デフォルトフォルダは、WindowsではC:\Program Files\Faronics、Macでは「/Applications\Faronics」です)。
- 3. Faronics コンソール内で、アップデートしたいコンピュータを選択します。
- 4. *管理者* をクリックし、次に、選択した生徒の Faronics をアップデートメニューオプ ションをクリックします。

この手順は、選択した各生徒あたり数秒かかります。終了したら、表示、続いて更新メ ニューアイテムを押して、生徒用コンピュータ上に新しくインストールしたバージョン を確認する必要があることもあります。

Mac 生徒はこのプロセス後にログアウトされ、完了後に再度ログインされなければなりません。

「選択した生徒メニューで Faronics を更新」を使って生徒を展開すると、生徒に使われた設定は、教師のインストール中に設定した「詳細オプション」と同様のものとなります。

Insight Connection Service での自動更新の使用

Insight Connection Service を使えば、すべての Windows と Apple-Mac の Student と Teacher を Insight ソフトウェアの同じバージョンに更新できます。

ソフトウェア配布ツールを使用しても、Insight の Student.msi (または Apple の MUpdate.zip)または教師用パッケージの新しいバージョンを多数のコンピュータに配 信するのは困難な場合がよくあります。「ICS 自動更新」機能でこの操作を自動化でき ます。



Student の更新

この機能を生徒に対して有効にするには、Student.msiファイルおよび/または MUpdate.zipファイルをLscConSvr.exeファイルと同じフォルダにコピーします。デ フォルトでは、Insight Connection Service をホストするコンピュータの C:\Program Files (x86)\Insight になります。

次に、Insight Connection Service を停止して再起動する必要があります。 Services.msc のユーティリティで操作できます。

生徒が ICS に接続すると、コピーされた Student.msi または MUpdate.zip ファイルの バージョンが生徒のバージョンと比較されます。バージョンが異なる場合、ICS は適切 なソフトウェアパッケージを生徒用コンピュータに転送および実行します。生徒用の Insight 設定は更新されません。Insight Student ソフトウェアのみが更新されます。

簡単なログファイルを監視して更新の結果を見ることができます。ファイルは C:\Windows\Temp\LskLog.txt にあります。テキストベースの CSV 形式のファイルで す。この ICS で実行されたすべての自動更新アクティビティを表示します。この機能 を無効にするには、Student.msi ファイルおよび / または MUpdate.zip ファイルを ICS フォルダから削除し、ICS サービスを再起動します。

Teacher の更新

この機能を Teacher に対して有効にするには、Teacher.msi ファイルおよび / または MTupdate.zip ファイルを LscConSvr.exe ファイルと同じフォルダにコピーします。デ フォルトでは、Insight Connection Service をホストするコンピュータの C:\Program Files (x86)\Insight になります。

Teacher が ICS に接続すると、コピーされた Teacher.msi または MTupdate.zip ファ イルのバージョンが Teacher のバージョンと比較されます。バージョンが異なる場合、 ICS は適切なソフトウェアパッケージを生徒用コンピュータに転送および実行します。 Teacher の Insight 設定は更新されません。Insight Teacher ソフトウェアのみが更新 されます。

簡単なログファイルを監視して更新の結果を見ることができます。ファイルは C:\Windows\Temp\LskLog.txt にあります。テキストベースの CSV 形式のファイルで す。この ICS で実行されたすべての自動更新アクティビティを表示します。

この機能を無効にするには、Teacher.msiファイルおよび / または MTupdate.zip ファ イルを ICS フォルダから削除し、ICS サービスを再起動します。

レジストリを介した更新

別のインストールフォルダを指す ICS マシンでレジストリエントリを作成し、その フォルダに希望する MSI および / または .ZIP ファイルをコピーします。

+-: HKLM\Software\Faronics Insight

值:"InstallFolder" (REG SZ)



Faronics Insight のキオスクモードでの実行

Faronics Insight では、Windows 上で 教師用コンソールをキオスクモードで実行でき ます。このモードにより Faronics がコンソールが設定されますので、最小化または終 了することはできません。

Faronics コンソールをキオスクモードで実行するためには、次の指示に従います。

- 1. 教師用コンピュータ上で、Faronics teacher.msiファイルを開きます。
- 2. regedit.exe を開きます。
- 3. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Run. をブ ラウズする
- 4. KiOsK を Faronics Teacher Key C:\Program Files\Faronics \Teacher.exe KiOsK に追加する

5. OK をクリック。

次回システムを再起動すると、Faronics 教師用コンソールはキオスクモードで動作します。



Faronics 基本設定の構成

Faronics の設定は簡単です。7つのタブが付いたダイアログ1つですべての優先設定が制御されています。ほとんどの優先設定は教師用コンピュータ上でのこれらの設定を変更することで制御されています。

構成設定には次のタブが含まれます:

- 教師
- 生徒
- ウェブ制限
- アプリケーション制限
- ドライブ制限
- キーストローク警告
- ネットワーク

教師の優先設定

教師タブでは、次のような優先設定を設定できます:

教師画面の表示

全画面

生徒の画面に教師の画面が表示されます。「教師を表示」中、生徒はマウスやキーボー ドを制御することができません。

ウィンドウ表示

各生徒の画面のウィンドウに教師のブロードキャスト画面が表示されます。この場合、 生徒は教師に「従う」ことができ、教師のブロードキャストセッションの間自分達の コンピュータを使うことができます。

色減少

スクリーンブロードキャスト、リモートコントロールと「生徒を表示」を行っている 間、教師が色の数を制限し、教師が使用した背景イメージを抑えることができます。 この両方を行うことで性能が向上し、ネットワークバンド幅要件を抑えることができ ます。

デュアルモニターの表示

教師がデュアルモニターを表示でき、デュアルモニターを使用中に生徒のサムネイル に戻ることができます。



画面メッセージを無効にする

このオプションを使うと、教師は生徒の画面がブランクの時に生徒の画面上に表示する テキストを指定できるようになります。テキストメッセージをドロップダウンリストに 入力し、適用を選択します。最新のメッセージ 10 通分が保存されていますので、画面 がブランクになっていても迅速に選択できます。これらメッセージは、コンソールツー ルバー上のブランク画面ボタンから閲覧することができます。そのボタンから、メッ セージを閲覧、選択または削除できます。

ブランク画面時に画像を使用すると、教師がデフォルトのブルーの背景の代わりに画像 を表示するよう選択できます。

通知

教師最小限の時にシステムトレイ通知

を表示するこのオプションは、コンソールが最小化されている教師がシステムトレイ 内の Faronics アイコンを表示したり隠したりすることを可能にします。

クラス終了の際にアンロード通知を表示

このオプションはクラスリストを解散する時にオンデマンドで生徒をアンロードするプロンプトを教師に表示します。

自動的に Insight 更新プログラムを確認

有効にすると、Insight コンソールがロード時に更新をチェックします。

妨害的で迷惑な操作(画面をブランクにする、制限、画面の表示、デスクトップをクリア にする)の前に警告を表示

このオプションは上記の操作のいずれかを行う前に警告ダイアログのプロンプトを表示 します。

サウンド

チェックが入っていれば、教師画面が生徒に表示されている時に Faronics サウンド効果が再生されます。

生徒の優先設定

生徒タブでは次のような優先設定を設定できます:

リモートコントロール

生徒のキーボードとマウスを使用不可にする

このオプションで、教師は生徒用コンピュータをリモートコントロールしている間、生 徒のインプットを「ロックアウト」できます。



生徒のサムネイル

実行中のアプリケーションのアイコンをサムネイルに表示

サムネイルビュー内で、このオプションにより、左手上部隅に生徒が現在実行してい るアプリケーションのアイコンが表示されます。

最新訪問したウェブサイトのアイコンをサムネイルに表示

サムネイルビュー内で、このオプションにより、左手上部隅に生徒が現在最近訪問し たウェブサイトを表すアイコンが表示されます。

利用可能時に(ディレクトリから)生徒名を表示する

もしあれば、サムネイル下に生徒ディレクトリ名が表示されます。 注意:生徒名とコンピュータ名の両方が、中サイズおよび大サイズのサムネイル上に自 動的に表示されます。小さいサムネイルで表示するオプションを選択することもでき ます。

シングルクリックで選択したサムネイルの表示を切り替え

Insight 操作を実行する生徒を選択してください。

タスクマネージャ / アクティビティ監視

生徒用コンピュータ上のタスクマネージャまたはアクティビティ監視を無効にする

生徒の Faronics フォルダ

生徒フォルダ

このオプションを使うと、生徒用コンピュータで Faronics フォルダのパスを指定する ことができます。このパスは、ローカルドライブでもネットワークドライブでもかまい ません。

ウェブアクセス時に生徒に通知を表示

「ウェブを制限」が有効な場合にこのオプションを使うと、ウェブサイトにアクセスしようとした生徒に通知を表示する機能のオン・オフを切り替えられます。

ウェブ制限

ウェブ制限タブでは、ウェブを制限するため次のような優先設定を設定できます。

全てをブロックする

このオプションを使うと、すべてのウェブブラウジング、インスタントメッセージお よび電子メールプログラムをブロックします。



許可されているウェブサイト

このオプションは、「ウェブを制限」がオンになっているときに許可されたウェブサイトのリストに入力できるようにするものです。ウェブサイトのリストは行頭に http:// または www.を含まなくてもかまいません。いちどにひとつのサイトを入力し、次に改行 (enter) キーを押します。ウェブサイトのリストは、読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みを実行します。ファイルは、.lsu のファイルとして保存されます。サン プルリストはこのようになります:

www.cnn.com

nationalgeographic.com

*.microsoft.com

次のウェブサイトをブロック

このオプションを使って、「ウェブを制限」をオンにした時にブロックするウェブサイトのリストをタイプ入力することができます。ウェブサイトのリストは行頭に http:// または www.を含まなくてもかまいません。いちどにひとつのサイトを入力し、次に改行 (enter) キーを押します。ウェブサイトのリストは、読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みを実行します。ファイルは、お望みの場所で.lsu ファイルとして保存されます。

許可済みウェブサイトとブロック済みウェブサイトの両方において、ウェブサイトを指 定するために「*」や「?」をワイルドカードとして使用することができます。

一般にウェブ制限は生徒側の対応デバイス全般において、Windows Internet Explorer
 (32 ビットおよび 64 ビット)および Firefox、Chrome、Edge で機能します。

Mac でのウェブ制限は、Safari、Firefox、および Chrome でサポートされています。

IP アドレス /Private/Incognito/Microsoft Edge での閲覧を制限する

生徒が InPrivate ブラウジング機能を使用し、ドット付き 10 進法 (IP アドレス) イン ターネットアドレスを使用してウェブサイトをブラウジングするのを禁止します。

アプリケーション制限

アプリケーション制限タブを使うと、次のような優先設定を設定できます:

許可されているアプリケーション

アプリケーションの制限をオンにした時に、許可するアプリケーションのリストを指定 する際に、このオプションを使用します。存在する場合、入力には適切なファイル拡張 が含まれなければなりません。ウェブ制限同様、アプリケーションをいちどにひとつず つ入力し、各入力後、改行 (enter) キーを押してください。アプリケーションのリスト は読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みできます。ファイルは .lsa ファイルと して保存されます。



アプリケーションは、直接タイプして、追加ボタンをクリックして、教師用コン ピュータ上で有効なアプリケーションを選択して追加することもできますし、また、 監視メニュー内の「生徒の実行中のプログラムを見る」をクリックして生徒用コン ピュータからアプリケーションを加えることもできます。

アプリケーション表示名は、通常、Windows 内では .exe file ですが、アプリケーション制限ソフトウェアは実際にはファイルの内部名を使用します。デフォルト表示名と 内部名は通常同じですが、非常に違っている場合もありますので、そのアプリケー ションを制限する問題が発生するときには、実行可能なプロパティをチェックし、内 部名を調べてください。Mac では、Finder 内に表示されているファイルの表示名を入 力します。

アプリケーションをブロック

アプリケーションの制限をオンにした時に、ブロックするアプリケーションのリスト を指定する際に、このオプションを使用します。

アプリケーションのリストは読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みできます。 ファイルは .lsa ファイルとして保存されます。

アプリケーションは直接入力でき、追加ボタンをクリックして教師用コンピュータ上 でアクティブアプリケーションを選択して追加するか、モニターメニューで「生徒の 実行中プログラムを見る」をクリックして生徒のコンピュータからアプリケーション を追加して追加できます。

注意 : Windows と Mac の両方で、作業システムにとって基本的なものであるため、制限のできないアプリケーションが存在します。たとえば、Windows のファイルエクス プローラーや Mac の Finder がこれに当たります。

ドライブ制限

ドライブ制限タブを使うと、ドライブ制限ボタンをクリックした際にブロックされる ドライブのタイプを設定できます。Faronics Insight では、ほとんどの生徒の USB ド ライブと CD/DVD ドライブをブロックできます。しかし、これはシンクライアントま たは LabQuest の生徒にはサポートされていません。

キーストローク警告

キーストローク警告タブにより、禁止用語のリストを指定できます。生徒が禁止用語 を入力すると、その生徒のサムネイルに黄色の警告アイコンが出て教師は通知を受け ます。サムネイル上にマウスを移動させると、その生徒が入力した言葉が表示されま す。

ネットワーク

ネットワークタブでは、次のような優先設定を設定できます:



データ転送

注意:ネットワーク上でマルチキャストおよび / またはディレクテッドブロードキャストを作動させるには、ルータ / スイッチの追加設定が必要な場合もあります。お使いのスイッチ / ルーターについての詳細はハードウェアの取扱説明書をご覧ください。これらオプションに関するさらなる詳細は、「IP サブネットと VLAN」の項目を参照してください。

IP ブロードキャスト

教師が全生徒のコンピュータに連絡する必要がある場合、このデフォルトオプションは ブロードキャストパケットを使用します。このオプションは、生徒が教師と同じサブ ネットにあることが前提です。

ブロードキャストパケットはサブネットまたはその他セグメントをクロスしないことに 注意してください。 サブネットをクロスする必要がある場合、IP マルチキャストか IP ディレクテッドブロードキャストのいずれかをお薦めします。

IP マルチキャスト

TCP/IP マルチキャスト経由で Faronics データを生徒に転送します。 マルチキャスト を利用すれば、ネットワーキングのハードウェアは Faronics トラフィックを Faronics コンピュータに対してローカルに保持することができます。ネットワークハードウェア がこのオプションをサポートする場合、使用を強くお薦めします。

IP - ディレクティッドブロードキャスト /Insight Connection Service

教師が数人または全員の生徒とは異なる IP サブネット上にいる場合、マルチキャスト は利用できないので、このオプションが使用できます。適切なアドレスを計算するため には、ダウンロードした Faronics のユーティリティフォルダ内にある DirBCastAddr.exe ユーティリティを使用してください。

複数のネットワークアダプタ

ネットワークインターフェイスカードを指定

コンピュータの中には実際に1つ以上のネットワークインターフェイスカード (NIC) および / または複数の IP アドレス (すなわちルーター) をもつものもあります。これらは バーチャルまたはワイヤレスネットワークのアダプタであることもしばしばあります。

Faronics は「最初の」NIC を常に使用しますが、それが望ましい NIC またはネット ワークであるとは限りません。このチェックボックスを使えば、どの NIC を使用する かを指定できます。

教師用コンピュータに複数のリアルまたはバーチャルネットワークアダプタがある場合 には、ドロップダウンボックスから Faronics が使用するアダプタを指定してください。

教師チャネル

チャネル番号

自分に割り当てられているチャネル番号を教師が変更できないよう、この機能は通常使 用不可にされています。教師にチャネルの変更を許可するか、複数チャネルを閲覧する ことを許可したい場合には、望まれる各教師用コンピュータで、インストール後にこの 機能が有効化されなければなりません。製品ダウンロード内のユーティリティディレク トリで利用できる、EnableChannelSelect.exe と呼ばれるユーティリティがあります。



ユーティリティを教師用コンピュータにコピーしダウンクリックすると、この機能が 有効化されます。

EnableChannelSelect.exe のコマンドラインパラメータは次の通りです:

- EnableChannelSelect.exe TRUE
- EnableChannelSelect.exe FALSE

* 注意:また、EnableChannelSelect.exe を使えば、教師または管理者は生徒のチャネ ルをリモートで変更できます。この機能へのアクセスは、生徒を1名、または複数選 択し、管理者 をクリックし、生徒チャネルを変更します をクリックします ...

管理者チャネル

チャネル「0」(ゼロ)は管理者のチャネルで、全割り当てチャネルを監視し、全生徒 用コンピュータがインストールされているか見る能力を持ちます。

複数のチャネルを使用する

この機能を使えば、教師は 16,000 のチャネルを任意にグループ化できます。各チャネ ルはカンマで区切られている必要があります。例: 「1,3,4」と入力すると、チャネル 1、3 および 4 にいる全生徒を同時に監視できるように教師用コンソールを設定します。

チャネルの変更

生徒用コンピュータのチャネルを変更する必要がある場合、このタスクを完了するに はいくつか方法があります。

- 製品をアンインストールするかインストールし直して、インストールダイアログ内の新しいチャネルを選択します。
- Windows では、ユーティリティ ディレクトリにある setchannel.exe を実行します。
- Faronics コンソールからチャネルを変更します。EnableChannelSelect.exe を実行 していれば、コンソールから生徒チャネルを変更することができます。
 - A. チャネルを変更したい生徒を選択します。
 - B.「管理者」をクリックして、「生徒チャネルを変更…」をクリック
 - C. 新しいチャネルを入力する
 - D. OK をクリック
- アクティブディレクトリを使用し、student.adm または student.admx でチャネルを設 定します。

注意:Faronics は Ghost のようなイメージツールとうまく協調できます。イメージ ツールを使用する際には、特定のクラスルームで全てのコンピュータに対するチャネ ルの変更の仕方に主に注意すべきでしょう。大組織の場合では、アクティブディレク トリか、ログインスクリプトを介した setchannel.exe を使用する方法を推奨します。 小さな組織の場合は、単純に、教師用コンソールを使ってチャネルを変更する方が簡 単でしょう。



Faronics 教師のアップデート

Faronics を新製品バージョンへ更新するには、教師のインストールファイルを再び実 行するだけです。新規バージョンをインストールする前に旧バージョンをアンインスト ールすることなしに、自動的に Faronics ファイルを新規バージョンに更新します。た だし、古いバージョンが v6.0 以前の場合、必須ではありませんがアンインストールし た方がいいかもしれません。

Faronics 生徒のアップデート

Faronics ソフトウェアへの機能拡張は必要に応じてリリースされます。生徒用コン ピュータを最新バージョンの Faronics にアップデートしたい場合、自動更新できる方 法があります。ソフトウェアをすべての生徒用コンピュータに手動で再インストールす る必要はもうありません。詳細については、本説明書で前述した「Faronics Insight の リモート更新」の項を参照してください。



Faronics セキュリティ監視

Faronics のような強力なツールでは、常に悪用される危険があります。生徒が不正コ ピーを探したり、教師ソフトウェアを読み込んでみたりしたい誘惑にかられ、クラス の進行を妨害してしまうこともあり得ます。

潜在的な悪用に対処するためには3つの方法があります。

- 適切な行動についての学校の方針を設定し、その方針を監視、実行します。
- Faronics Insight をアクティブディレクトリ安全モードにインストールします。この場合、教師は生徒用コンピュータを管理するために「Faronics 教師」というドメイングループに属している必要があります。(推奨されるメソッド)
- Faronics Insight をパスワード安全モードでインストールします。これは、アクセ スが許可される前に教師用と生徒用コンピュータの両方でパスワードが要求される ものです。

セキュリティ監視

セキュリティ監視は、Faronics ダウンロードイメージ上のユーティリティフォルダで も利用できます。このアプリケーションはどの生徒 PC でも実行できるもので、 Faronics プログラムのインストール、アンインストールを含む Faronics のアクティビ ティについてのログを記録します。

このユーティリティがあれば、大概、クラスルームの「適切な使用方針」を悪用した 生徒を学校が素早く見つけることができます。このユーティリティについての詳しい 説明は、同じフォルダ内の Faronics Insight Utilities.pdf ファイルにあります。

表示 それからステータスウィンドウ を続けてクリックしても、教師はセキュリティ監 視データにアクセスできます。アクションを実行次第、セキュリティメッセージが表 示されます。

以前のバージョンでは、Faronics のデモバージョンをダウンロードしてインストール した生徒たちが最大のセキュリティ問題を引き起こしました。Faronics v6.1 以降、デ モバージョンはリリース済のバージョンとの連携はありません。



NAL 環境内での Faronics

NAL(ネットワークアプリケーションランチャー)は、Novell ZEN Works パッケージ の一部です。NAL は生徒のデスクトップを制御するために使用可能で、管理者承認済 みアプリケーションのみに生徒がアクセスできるようになっています。最も制限の高い モード(そしておそらく学校側にとって最も便利なモード)では、指定のアプリケー ションのみが実行できます。

Faronics Insight を NAL 環境でインストールする場合は、教師および生徒プログラムの両方とも付属の.msi ファイルを使って実行します。

教師用コンピュータ用の注意点:教師用コンピュータも NAL によってロックダウンさ れている場合、教師にはシステムトレイがなく、Faronics Teacher アイコンをクリッ クして Faronics を制御することができません。この場合、ホットキーシーケンス「 <CTRL><ALT><L>」を使用して、Faronics 教師のメニューを出すことができます。



ウェイクオン LAN 対応

リモートで生徒用コンピュータの「電源をオン」にするために、ウェイクオンLAN (WOL) テクノロジーが利用されることができます。この場合、生徒用コンピュータで は WOL が有効になるよう設定されている必要があります。この仕様のために必要な手 順は、各コンピュータモデルによって異なります。通常、この手順をサポートするに はコンピュータに特別なハードウェアが必要で、有効にしなければならない BIOS ス イッチがあります。実際に必要な手順を決定するにはコンピュータサプライヤーに相 談するのが一番いいでしょう。

ダウンロードした Faronics Insight のユーティリティフォルダ内には、WOL の準拠性 を確認するためのユーティリティである WakeUp.exe が入っています。

このユーティリティは、指定したターゲットコンピュータに WOL の「ウェイクアッ プ」シグナルを送ります。このユーティリティを使用するには、ターゲットコン ピュータとコンソールコンピュータの 2 台が必要です。コンピュータは両方とも同じ IP サブネットに属している必要があります。また、ターゲットコンピュータの物理 MAC アドレスを決定する必要があります

コンピュータが Win9x コンピュータの場合、Window の winipcfg.exe ユーティリティ を利用することもできます。そうでない場合、IPCONFIG /ALL コマンドをコンピュー タプロンプトから動作させることができます。

ターゲットコンピュータの物理 MAC アドレスを入手したら、コンピュータをシャット ダウンし、別のコンピュータ(つまりコンソール)上のコマンドプロンプトから、 WakeUp.exe ユーティリティを実行します。これにより、ターゲットコンピュータに WOL ウェイクアップパケットが送信されます。

ターゲットコンピュータ上で WOL が適正に設定されていれば、電源が入ります。電源 が入らない場合、どんな追加手順をとるべきか確認するため、ハードウェアメーカー に確認しなければなりません。生徒用コンピュータ上で WOL が適切に設定されていな い場合、Faronics 教師用コンピュータは、そのコンピュータ上で WOL ウェイクアッ プを実行できません。

注意 : また、Apple 版のウェイクオン LAN では、Mac はスリープから起きますが、オフになっている Mac の電源をオンにはならないのでご注意ください。



802.11 ワイヤレスサポート

Faronics Insight には、ワイヤレスネットワーク上でコミュニケーション中であると教師用コンピュータが感知した際に自動的に選択される新しいワイヤレスプロトコルが含まれます。このプロトコルはワイヤレスネットワーク上の Faronics の性能を著しく向上させます。

特殊なハードウェア要件

- NIC ベンダーから入手可能な最新の NIC (ネットワークインターフェイスコネク ター)ドライブを全てのコンピュータが使用しているか確認して下さい。「ワイヤレ スの世界」は、10 年ほど前の LAN 環境と似ています。ワイヤレスネットワークド ライバは、頻繁にアップデートされ、向上しています。
- 2. 業務用アクセスポイントを推奨します。アクセスポイントには、2つの種類があり ます。家庭用と業務用です。最もわかりやすい違いは値段です。
 - >「家庭用」アクセスポイントは一般的に 100 ドル(約1万円)程度で利用できま す(例:LinkSys、DLink、Belkin など)。数台のコンピュータがインターネット リンクやプリンターを共有している家庭環境であれば、問題なく作動します。
 - >「業務用」アクセスポイントは、同時に 50 台以上のクライアントをサポートする ことが可能です。このタイプは一般に 300 ドル前後となります。生徒用コン ピュータが 5 台以下でない限り、業務用のアクセスポイントが望ましいでしょ う。(当社は Meru を推奨しますが、同様の製品は HP、Dell、Cisco (LinkSys 部門以外)、IBM なども生産しています。)このタイプは、Faronics だけではな く、一般的に生徒用コンピュータにも利点があります。
- 3. 生徒用コンピュータの NIC 上の節電機能をオフにして下さい。弊社テストの結果、 これにより Faronics 性能もコンピュータの電池寿命も改善したことが分かっていま す。

インストール

全てのワイヤレスコンピュータは同じアクセスポイントに関連していると推測されま す。これ以外では、インストールに関する特別な問題はありません。インストールガイ ドで説明の通り、教師用および生徒用コンピュータでインストールプログラムを実行し てください。

性能

生徒用コンピュータにブロードキャストする教師画面のスピードは、ワイヤレスは、有線のネットワークでのパフォーマンスと比較した場合良好ではありません。これは変えられません。

有線のネットワークはブロードキャストおよびマルチキャストデータを 100 Mbit/ 秒で 送信します。802.11 ワイヤレスネットワークは、通常ブロードキャストおよびマルチ キャストデータを毎秒1Mビットにて送信します(有線スピードのわずか1%というこ とです)。



ワイヤレスネットワークの帯域幅が大きく減少するだけでなく、802.11 アクセスポイントのアーキテクチャでは、しばしば、ブロードキャストおよびマルチキャストデータに対する著しい伝播遅延も発生します。これは 802.11 世界の節電アーキテクチャに原因があります。

しかし、Faronics 教師表示機能はそれでも妥当な範囲で良好に動作します。複雑な教師画面でも、生徒画面に3秒以内に表示されるはずです。教師画面の変更は、シンプルであればほぼ同時に表示されるはずです。

ワイヤレスパフォーマンスの調整

状況に応じてパフォーマンスを向上させたいとお考えの場合は、お使いのアクセスポ イント(AP)の構成を設定し直してみることもできます。これはベンダーによって違い がありますので、以下には一般的なガイドラインのみを示します。あなたの特定のア クセスポイントの変更の仕方を知るには、アクセスポイントの説明書を参照して下さい。

- 1. ビーコンインターバルをできるだけ低く落とします。一般的には、これは 50ms ま で落とせます。
- 2. DTIM をゼロに設定します。これによりブロードキャストおよびマルチキャストパ ケットが各ビーコンパケット後に送信されるようになります。
- 3. ブロードキャストまたはマルチキャストのスピードを上げます。すべての AP で設 定可能なわけではありません。

SSID 制限

Insight ネットワーク不正変更は、学校のワイヤレスネットワークが使用可能な時に、 生徒用コンピュータを強制的に関連づけることができます。

Insight ソフトウェアの制限を回避するために生徒がとる一般的な方法のひとつは、自 分たちの携帯電話で Mobile Hotspot を共有して、ラップトップを学校の SSID ではな くこの SSID に関連付けることで、学校のワイヤレスネットワークをまるごと回避する ことです。こうすれば、生徒たちは学校のフィルタリングソフトウェアでフィルター されることもなく、Insight 教師用コンソールで観察されることもありません。

SSID 制限は「許可された」SSID のリストを Insight Student ソフトウェアで指定できます。この機能は。Insight のネットワーク不正変更機能と連携して使用します。

選択すると、許可された SSID のリストを指定できます。

Insight Student ソフトウェアは定期的にローカルコンピュータが許可された SSID に 関連付けられているかどうかを確認します。ローカルコンピュータが許可された SSID に関連付けられておらず、許可された SSID が現在アクセス可能な場合は、生徒の画面 は 10 秒間「ブランク」になりアクセス可能な許可された SSID に関連付けるように メッセージが表示されます。生徒がその後適切な関連付けを行うために 10 秒を与えら れ、行われなければ再びブランク画面のメッセージが表示されます。

現在は、Windows および Mac 生徒のみがこの機能をサポートしています。許可された SSID はすべて表示される必要があります。非表示の SSID はサポートされていません。


MSI スクリプトオプションは次のとおりです。 ENABLE_SSID_WHITELIST および SSID_WHITELIST_NETWORKS ENABLE_SSID_WHITELIST=0 は、この機能をオフにします。オンにするには、 ENABLENETWORKTAMPERCONTROL と連携して使用してください。 例: ADVANCED_OPTIONS=1 ENABLENETWORKTAMPERCONTROL=1 ENABLE SSID WHITELIST=1

SSID_WHITELIST_NETWORKS="net1+net2+net3+etc..."



その他の Faronics ユーティリティ

SecurityMonitor.exe

生徒が Faronics の不正コピーを持っているのではないかと思われる場合、新しい Faronics セキュリティ監視でその生徒を迅速に識別することができます。Faronics セ キュリティ監視は全トラフィックを記録し、そのデータをログファイル外で保存する オプションがあります。オプションボタンをクリックし、ログインタブを選択して ファイル名をタイプしてください。

オプションボタンをチェックすると、生徒ごと、メッセージごとにフィルタすること もできるようになります。この新しいフィルタ能力は、不適切な使用を見つけるため に、全メッセージに目を通すことができるようにするものです。不正に使用されてい る教師用コンソールが見つかれば。そのコンピュータを選択してリアルタイムで警告 を表示することができます。この時点では、そのコンピュータからの全トラフィック に警告の記号が付けられます。

EnableChannelSelect.exe

デフォルトでは、教師優先設定ダイアログのネットワークの教師は教師チャネルエリ アの設定をかえることはできません。この情報はインストール中に設定され、一般的 には設定される必要はありません。しかし、教師がこれら設定を変更する必要がない とき、教師用コンピュータでユーティリティを作動させることにより、教師は自分の チャネル、グループおよびリモート生徒チャネルを更新することができます。ユー ティリティは、ローカル管理者権限で作動させなければなりません。これらの権限を 無効にしなければならないとき、このユーティリティを「偽」コマンドラインオプ ションで作動させることができます。

DisableAudio.exe

デフォルトでは、教師は Insight のオーディオ機能を使用できます。教師にオーディオ 設定を使用させたくない場合には、このユーティリティ (DisableAudio.exe TRUE) を 教師用コンピュータで実行すると、speak\audio セクションがグレーで表示され無効 化されます。このユーティリティで行った変更は、次に教師用コンソールが起動され るまで有効になりません。

DisableAudio.exe FALSE を実行することで、デフォルトに戻すことができます。

DisableDataTransmission.exe

デフォルトでは、教師は教師優先設定ダイアログのネットワークタブのデータ伝送エ リア内の設定をかえることができます。教師にデータ伝送の設定を変更させたくない 場合には、このユーティリティを教師用コンピュータ上に動作させ、データ伝送の欄 がグレーで表示され、無効化されるようにすることができます。

DisableDataTransmission.exe FALSE を作動させることにより、デフォルトに戻すことができます。



DirBCastAddr.exe

教師優先権を設定時に、ネットワークタブは最大3個の異なる「IP ディレクテッドブ ロードキャスト」アドレスを許可します。IP ディレクテッドブロードキャストは特別 なアドレスで、(適切に形成されている場合)目的地のサブネットに到着するまであな たのネットワークを単一のディレクテッド UDP パケットに変換します。目的地のサブ ネットを検索時に、ルーターはパケットを標準的な UDP ブロードキャストパケットに 転換します。

IP ディレクテッドブロードキャストが作動するためには、あなたのルーターは IP ディ レクテッドブロードキャストパケットを転送するよう設定されていなければならず(時 として、ルーターはこれらを「UDP ディレクテッドブロードキャスト」と称します)、 パケットのアドレスが適切に形成されていなければなりません。このユーティリティ は、後ほど役に立ちます。その生徒のサブネットマスクとともに、ターゲットサブネッ ト上のいずれかの生徒用コンピュータの IP アドレスを入力します。両方のアドレスを 入力したら、「計算」ボタンをクリックします。その結果出たアドレスを、教師優先設 定ダイアログのネットワークタブのデータ伝送エリア内のサブネットエントリー内にコ ピーします。

LSeries.bat

このファイルはすべての NComputing U および L シリーズデバイスで使用されていま す。install.pdf の説明書に使用について説明されています

LSeriesLocation.exe

このユーティリティは U および L シリーズ NComputing のローカルクライアント名を 表示します。Install.pdf 説明書に説明されているように、NComputing U および L シ リーズデバイスの正しい設定の確認に使用できます。

SetChannel.exe

教師チャネルは一般的にインストール中に設定されます。Faronics ソフトウェアは、 生徒または教師用コンピュータ上のローカル教師チャネルを更新するために、常に再イ ンストールすることができます。このユーティリティはまた、ローカル教師チャネルの 更新のためにも使われます。ローカルの管理者の権限で動作されなければなりません。 教師用コンピュータでは、チャネルをグループにまとめるのにも使われます。コンソー ルアプリケーションです。全パラメータは、コマンドラインを通過します。新規教師 チャネルは、0 から 16,000 までの番号でなければなりません(チャネル 0 は生徒用コン ピュータでは実際には使われないことにご注意ください。)マシンが教師用コンピュー タである場合、括弧 { }内でコンマ(,)でチャネルを区切ってチャネルグループを特定 することができます。(例 {1,4,63}) SetChannel.exe は特別な -TC コマンドラインパラ メータを受け入れ、PC テックコンソールのチャネルの変更を可能にします。

SetDataTrans.exe

これは、IP ブロードキャスト、IP マルチキャストと IP ディレクテッドブロードキャス ト間の教師用コンピュータのベースデータ伝送タイプをかえるものです。コンソールア プリケーションとして、パラメータはコマンドラインを通過します。「ブロードキャス ト」、「マルチキャスト」または「ディレクテッド :w.x.y.z,w1.x1.y1.z1,...」です。IP ディレクテッドブロードキャスト向けには、最大 4 のドット付き 10 進法 IP ディレク テッドブロードキャストアドレスを指定できます。DirBCastAddr.exe ユーティリティ を使って、これらアドレスを適切に形成することができます。



StudentDiagnostics.exe

これは、Faronics テクニカルサポートの人員によって使われる、診断ユーティリティ です。一般的に、ファイヤーウォールとルーターに関するネットワーク接続問題を検 知するために使われます。

StudPopUp.exe

生徒または教師用コンピュータがシステムトレイを持たない場合(システムトレイをグ ループポリシーから、または Novell の NetWare ネットワークアプリケーションラン チャーから削除することは可能)、ローカル Insight メニューにアクセスすること方法 がまったくなくなります。このアプリケーションを動作させると、ローカル Faronics メニューが表示されます。

SwitchToTeacher.exe

教師用コンソールに生徒に機能をスイッチさせるオプションがあるとき、生徒用マシ ンに教師用コンピュータの機能をスイッチさせる簡単な方法はありません。このユー ティリティはそのオプションを提供するものです。これを行うには、まず教師ソフト ウェアの生徒用コンピュータ上へのインストールを終了させ、次に生徒用ソフトウェ アへ上書きインストールしなければなりません。このユーティリティを動作させると、 ローカルの生徒アプリケーションが停止し、教師アプリケーションが起動します。

WakeUp.exe

Faronics 教師用コンソールは、「Lan パケット上にウェイクアップ」を発行し、特定 の生徒用コンピュータをウェイクアップさせることができます。これを行うには、生 徒用コンピュータは BIOS を全部リモートウェイクアップに設定されていなければなり ません。残念ながら、全コンピュータ製造業者は、BIOS 設定を違うやり方でやるよう に設定しているようです。このユーティリティは、特定のマシンが適切に設定されて いるかを確認するために使われます。ターゲットコンピュータの MAC アドレスをコマ ンドラインオプションとして使います。たとえば、ターゲット生徒用コンピュータの MAC アドレスが 00-22-64-AD-9C-AC であった場合、次のコマンドラインを使って WakeUp.exe でそのマシンを「ウェイクアップ」させることができます: WakeUp.exe 00-22-64-AD-9C-AC 「Enter」



Faronics Insight の使用

この章は、クラスルームでの Faronics Insight クラスルーム管理ソフトウェアの使い方を説明するものです。

トピック

始めに

Faronics Insight の動作方法 教師用コンピュータの使用 生徒用コンピュータについて ユーザーインターフェイスのヒント Insight 8.0 新機能の概要 Faronics Insight 機能の概要 異なるコンピュータでのテストビルダーの使用 Faronics セキュリティ監視 Faronics 構成の基本設定



Insight 製品をダウンロードすると、Faronics Insight のインストールに必要なセット アップファイルも付属します。

ほとんどの場合、コンピュータ上で作動中の Insight ソフトウェアは、Teacher または Student 「生徒」または「教師」(大文字で)と表記され、ユーザー、実際の teachers と students 「教師」と「生徒」(小文字)や一般のデバイスとは異なっています。



Faronics Insight の動作方法

Faronics では、コンピュータベースの教室の中で、教師がすべての生徒用コンピュー タを閲覧できるようになっています。

教師「チャネル」を使い、クラスルームのコンピュータ全てが見えるようになっていま す;テレビチャンネルと似ていて、同じプログラムを異なるテレビで見ることができま す。Faronics には選択可能な 16,000 もの教師チャネルがあり、これは一定時間に Faronics を使って 16,000 もの異なるクラスルームを設けることができることを意味し ています。

ラボ、クラスまたはワイヤレスラップトップカートに Faronics を設定する上で最も理にかなった方法は、各クラスあるいは教室用にそれぞれ独自の教師チャネルを確保することです。このセットアップにより、同じクラスルームにある全てのコンピュータがお互いにインタラクトでき、教師がクラスルーム全体を管理することができます。

Faronics がマンツーマン型の環境で使用される場合、生徒がノートブックを持っている場合、2つのオプションがあります。

- 1. 標準設定は、教師がクラスリストを作成し、自動的に生徒をクラスに入れるものです。
- 他のオプションは生徒が教師のチャネルに参加するものです。このモードでは、生徒がクラスに参加時や退出時に教師は生徒を監視できます。また、教師は以前に保存したクラスリストに対してクラスにいる現在の生徒リストを比較できます。

大概の学校では、オプション1を選んでいますが、その理由は2番目のオプションより も素早くクラスを開始できることにあります。クラスリストを使うことを選択する場 合、これの実行方法は3つあります。

クラスリスト内で実施

これらクラスリスト方法のそれぞれに対して、まずどのようにチャネルを割り当てるか を決定してください。

- 全ての生徒のコンピュータを、教師が誰も使用していないデフォルトの「ホーム」 チャネルに設定します。たとえば、中学校では、7年生をチャネル7に、8年生を チャネル8に、そして9年生をチャネル9に割り当てることができます。代わりに、 単一のチャネルを学生全体に割り当てることもできます。
- 2. 各教師を固有のチャネルに設定します。多くの学校では教師のクラスルーム番号を 使うとうまく行っているようです。
- 3. 生徒用コンピュータにデフォルトオプションでチャネルをかえないよう設定します。
- 以下の3つの方法のうちひとつを使ってクラスリストを作成します。これらリストは、生徒ログイン名やそのコンピュータ名に基づいて作成できます。また、Windows内ではアクティブディレクトリ (AD) 名を使うこともできます。
- 5. 教師用コンソール内で適切なクラスリストを読み込みます。この作業により、一時的 に生徒をホームチャネルから教師がログオンしているチャネルに「引き寄せ」ます。
- クラスを終了します。現在のクラスが終了すると、現在のグループにいる全生徒に ホームチャネルに戻るように命じます。クラスを活発に解散することを忘れること は問題ではありませんが、別の教師が自分のクラスリストを読み込むと、生徒を自 分のチャネルに集めることができます。



- 7. クラスを自動的に終了します。クラスを自動的に終了するよう選択できます。
 - > 初期設定による終了時間 教師にクラスの終了時間の指定を許可します。クラス がロードされるたびにこれが通常の終了時間となります。
 - > 今から XX 分後 教師にクラス開始時における終了時間までの分数の入力を許可 します。

クラスリストを手動で作成する

- 1. 管理者メニューから、マンツーマンを選択し、次にクラスリストの管理を選択しま す。
- 2. 生徒の選択方法を決定し、適切なラジオボタンを選択します。生徒を見つける方法 には以下のようなものがありますので、この中から選択できます:
 - > 生徒ログイン名
 - > 生徒用コンピュータ名
 - > 生徒名 (Windows 環境のアクティブディレクトリから)
- 3. 生徒をブラウズボタンをクリック。
- 4. このクラスに適切な生徒に印をつけ、追加を選択します。
- 5. そうしたい場合、このクラス用に前回作成したプロファイルと関連付けるために*ブ ラウズ*します。
- 6. 名前を入力してクラスを保存します。クラスリストは .lsc extension で保存されます。 クラスはこれで、オンデマンドで読み込みできるようになりました。これにより、コ

ンソール内現在の生徒リストが保存されているファイル内の生徒と交換されます。

静的ファイルからクラスリストを作成する

- 1. 以下のいずれかで生徒をリストする .csv ファイルを作成する:
 - > 生徒ログイン名
 - > 生徒用コンピュータ名
 - > アクティブ・ディレクトリからの生徒名
 - このファイルのログイン名の一例:
 - Student01

Student02

Student03...

管理者メニューからマンツーマンを選択し、次にクラスリストの管理を選択します。

- 2. 生徒をインポートを選択します…
- 3. 以前に作成した .csv ファイルを選択します。
- 4. そうしたい場合、このクラス用に前回作成したプロファイルと関連付けるためにブ ラウズします。
- 5. 名前を入力してクラスを保存します。クラスリストは .lsc extension で保存されます。



クラスはこれで、オンデマンドで読み込みできるようになりました。これにより、コン ソール内現在の生徒リストが保存されているファイル内の生徒と交換されます。同じメ ニューロケーションから、後ほど現在のクラスを解除することができます。

生徒情報システム (SIS) からダイナミッククラスリストを作成する

現存する異なる生徒情報システムの数により、Faronics はこれらツールの統合において、より一般的なアプローチを取っています。一般的に、これらシステムはたとえば生 徒命のようなデータをエクスポートし、またそのデータエクスポートを継続して行うよ うにスケジュールするメカニズムを提供します。

ダイナミッククラスリスト実施準備として、SIS ソフトウェアから必要なデータをエク スポートし、て2つのファイルを作成する必要があります。最初のファイルは教師ファ イル。データ3列のみ、コンマで区切ります。お持ちのツールに.csv として保存する エクスポートオプションがあるはずですが、そうでない場合、通常のテキストファイル でも受付可能です。

データは行ごとに特定の順番でリストされている必要があります:教師名、クラス ID、 クラス名をコンマで区切ります。教師名は、そのネットワークログイン名かコンピュー タ名のいずれかです。またはアクティブディレクトリを使用した Windows 環境ではそ の教師名です。クラス ID 番号は任意の数字識別子で、各クラスに独自のものでなけれ ばなりません。

必要な2つ目のファイルは生徒ファイルです。生徒ファイルには、データ2列のみ、コンマで区切ります:クラス ID と生徒名です。生徒名は、そのネットワークログイン名 かコンピュータ名のいずれかです。または、Windows 環境ではアクティブディレクト リやその生徒名です。

2 つのファイルはそれぞれ次のように名前をつけます(大文字と小文字は区別されます): 教師名または生徒名用データのエクスポート方法によって、

「ClassesByTeacherLoginName.csv」、「StudentsForClassByLoginName.csv」、 「ClassesByTeacherMachineName.csv」、「StudentsForClassByMachineName.csv」、 「ClassesByTeacherADName.csv」または「StudentsForClassByADName.csv」

このデータをファイルにエクスポートし、適切に名前を付け、教師用コンピュータがア クセスできる任意のネットワークロケーションにコピーします。ほとんどの SIS ツール は、こういった種類のデータエクスポートをスケジュールすることが可能にしますが、 そうでない場合、このデータを何度でも好きなだけファイル共有にエクスポートしてコ ピーすることができるクロンジョブ (cron job)を簡単に設定することができます。

これらファイルを Faronics と使うには、,教師をインストール後、コンソールを起動させます。リストを読み込むためのステップは、Windows も Mac も同じです。

- 1. 管理者メニューから、マンツーマンをナビゲートし、ダイナミックを読み込みを選 択します。
- 2. 教師と生徒の.csv ファイルを保存したロケーションを閲覧します。
- 3. 読み込みたいクラスと生徒を選択します。

同じメニューロケーションから、後ほど現在のクラスを解除することができます。



新しくやってくる生徒やクラスをかえる教師が自動的に対応されるよう、コンソール は常にこれらファイルに変更がないかチェックしています。



教師用コンピュータの使用

Faronics Insight の使い方は以前のバージョンとほとんど変わりません。教師用コン ピュータのシステムトレイに、小さな Faronics アイコン(小さな緑色の円の輪)があ ります。システムトレイはコンピュータ画面の右下にあります。このメニューは Faronics のキー機能の制御に使用します。Mac では、Faronics メニューはドックのア イコンでアクセスできます。

Faronics 教師用コンソールにアクセスすると、より詳細な機能を使用できます。コン ソールにアクセスするには、Faronics システムトレイアイコンまたはドックアイコン を「左クリック」するか、スタートメニューから起動します。

コンソールでは、基本機能がツールバーのアイコンで表示されます。すべての機能はメ ニューからアクセスできます。コンピュータのサムネイルを右クリックすることでも、 基本機能にアクセスできます。

コンピュータのサムネイルを選択する場合、CTRL-A を使ってすべてのコンピュータを 選択するか、CTRL キーを押したままクリックして複数のコンピュータを選択します。 Mac では command-a ですべてのコンピュータを選択します。サムネイルビューでは マウスで選択するだけで複数のコンピュータを選択できます。

ツールバーボタンを使用する場合は、シングルクリックでこの機能を有効にしボタンを 押します。もう一度クリックするとトグルスイッチと同様にこの機能を無効にします。

複数の教師用コンソールで同じクラスを監視できます。ただし、最初の教師のアクションのみが有効であり、またその教師用コンソールでのみ、そのアクションを停止できます。たとえば、ある教師が生徒の画面をブランクにした場合、別の教師は生徒のブランク画面を解除できません。



生徒用コンピュータについて

Faronics は生徒用コンピュータのバックグラウンドで実行されるように設定されています。ネットワークが正常に機能しており、マルチキャストまたは IP ディレクテッドブロードキャスト構成のネットワークタブで適切な選択がされている場合は、生徒は自動的に教師のチャネルに表示されます。

Faronics 生徒アイコン

Windows のコンピュータ画面の右下隅のシステムトレイの中に Faronics アイコン(緑色の円の輪)が表示されます。Mac では画面上部に小さなアイコンとして表示され ます。

Windows または Mac でカーソルをアイコンの上に置くと、そのコンピュータが接続 している教師チャネルが表示されます。

生徒がこのアイコンをシングルクリックすると、教師にヘルプを要求します。生徒は 質問を入力でき、教師用コンソールにその生徒が質問していることを示す小さなクエ スチョンマークが表示されます。教師がその生徒と対話するか、メニュー項目の「生 徒の質問をクリア」を使用するとクエスチョンマークは消えます。

生徒がこのアイコンを右クリックすると、生徒のファイルフォルダが表示されて、そ こからファイルの送信 / 回収機能でファイルを送信します。

注意:Faronics 生徒アプリケーションのインストール中に生徒のチャネル変更の許可 を選択した場合、生徒はメニューオプションで接続したいチャネルを選択したり、好 きな時に教師チャネルから離脱したりできます。



ユーザーインターフェイスのヒント

Faronics は簡単で使いやすく設計されています。ほとんどの機能は Faronics システム トレイメニューまたはドックアイコンからアクセスできます。Faronics 教師用コン ソールでは、より詳細な機能を使用できます。

すべての機能は、6 つのメニュー項目の下にグループ化されています。「デモンスト レート」「モニター」「話す」「制限する」「管理者」「表示」です。



Faronics ツールバーボタン

Faronics の機能を使用するには、1人まはた複数の生徒を選択し、使用したい機能に 対応した Faronics ツールバーボタンを押します。するとボタンが押された状態になり 明るい色に変わります。この機能を停止するには、もう一度ボタンをクリックします。

Faronics ツールバーボタンの一部はボタンの右側に小さな矢印があります。その機能の追加オプションにアクセスするには、そのボタンをクリックします。

ボタンの追加、削除、移動は、PC で「表示」次に「ツールバーの構成」をクリックするか、Mac で「ツールバーのカスタマイズ」をクリックします。

ウェブとアプリケーション制限のアクティブ化

ウェブとアプリケーション制限はアクティブ化する前に構成する必要があります。これ らの機能は「基本設定」メニューで構成でき、メニューまたはツールバーボタンでオン にできます。



マウスの右クリック

Faronics 教師用コンソールで、詳細またはサムネイルビューで生徒用コンピュータを 右クリックすることで、高度な機能にアクセスできます。

Show Teacher's Screen

Stop Showing Teacher's Screen

Remote Control

Show Student's Screen to Students

Stop Showing Student's Screen

Blank Screen

Unblank Screen

Limit Web

Stop Web Limiting

Limit Applications Stop Application Limiting

Limit Printing

Stop Limiting Printing

Limit Drives

Stop Limiting Drives

Chat...

Send Student a Message...

Clear Student Question or Alert

Send Files To Student Collect Files From Student

View Student Internet History... View Student Keystroke and Application History... View Student's Running Programs...

Properties...

複数選択

生徒1人、複数、全員を選択できます。

複数の生徒を選択するには、標準の Windows CTRL クリック方法を使用します。 CTRL-A キー操作で全リストを選択することもできます。Mac では command-a です べてのコンピュータを選択します。

詳細表示では、選択されたラインは青に変わります。サムネイルビューでは、サムネ イルが太い赤線で囲まれます。サムネイルビューでは、Windows の CTRL クリックを 使用する必要はありません。サムネイルビューで別のサムネイルをクリックすること で複数のサムネイルを選択できます。

必要な生徒を選択したら、選択した生徒を右クリックするか、ツールバーボタンまた はコンソールメニューをクリックして詳細オプションメニューを開きます

生徒の選択解除

生徒の選択を解除するには、コンソールの空白領域をクリックします。

暗黙的な全選択

生徒が1人も選択されていない場合、ブランク画面または教師画面のようなキー機能を アクティブ化する時、暗黙的に全選択されます。例えば、生徒が1人も選択されていな い場合、「生徒画面をブランクにする」ツールバーボタンをクリックして全生徒の画面 をブランクにできます。

画面更新

PC で F5、Mac で command-r、またはメニュー項目で「表示」->「更新」を押すこと で、チャネルで生徒コンピュータを見つけ直すためにコンソールを更新します。

ソート

デフォルトでは、詳細表示は「ログイン名」列のアルファベット順に並んでいます。他の列のヘッダーをクリックすれば、リストは選択した列でソートされます。

Faronics システムトレイメニューまたはドックアイコンメニュー

システムトレイまたはドックアイコンの Faronics アイコンを右クリックすると、多くの教師が日常使用する機能のメニューが表示されます。

システムトレイアイコンを左クリックすると現在生徒に対して実行しているアクション を停止し、Faronics 教師用コンソールを表示します。

Faronics メニューのホットキー

教師用 PC の中には、タスクバーが表示されないものがあります。非表示アイコンをク リックすることはできないので、CTRL+ALT+L で Faronics 教師メニューを表示します。 (「L」は Faronics のことです。)

選択したもののみ

サムネイルビューでは、コンピュータを選択し、「すべて表示」ボタンの矢印の下にある「選択したもののみ」メニューを押すことで、そのコンピュータのみを表示できます。

教室のレイアウト

「教室のレイアウト」で、サムネイルをクラスの形に整列させることができます。クラ スのレイアウトはサムネイルのサイズごとに自動的に保存されます。クラスのレイアウ ト表示に切り替えるには、「すべて表示」ボタンの右にある矢印をクリックし、「教室の レイアウト」を選択します。

「グリッドにスナップ」を使用すると「教室のレイアウト」ビューのサムネイルを並べ やすくなります。「レイアウトのロック」は、設定したレイアウトを保持します。

ツールチップの表示

「ツールチップの表示」で、サムネイル表示のツールチップを表示または無効にします。



サムネイル拡大

「すべて表示」ボタンの拡大メニューは、サムネイルの上でマウスを動かし一時的に大 きなサイズに拡大する機能をオンまたはオフにします。

ユーザー補助

特定の障害を持つ個人ユーザーは、Insight をナビゲートするためにキーボードを使用 せざるを得ません。例えば、運動障害をお持ちの方は、マウスを使用するのに必要な 細かい動きができないかもしれません。全盲のユーザーはスクリーン・リーダーなど の支援テクノロジーに依存し、マウスでクリックする場所を確認することができません。

マウスを使用できなくてもやり取りを可能にするため、教師が使用するコマンドを操作できるようにキーボードフレンドリーナビゲーションが Insight に追加されました。

tab および shift + tab キーを使用して、オプションとフォームコントロールをナビ ゲートし、コマンド、ボタン、またはその他の操作要素を Enter を使用して有効にで きます。キーボードの*矢印ナ*ビゲーションも、目的の選択のナビゲートに使用できま す。

Insight 8.0 新機能の概要

Faronics Insight には多数の新機能が含まれていますが、設計は簡単で使いやすいままです。今回のリリースに含まれている新機能は以下のとおりです。

Insight のパフォーマンスの向上

サムネイル監視では、以前のエディションの Insight と比べて半分のデータの量 (7.8 以前はサムネイルあたり 40KB に対して、現在の 8.0 では 20KB) となり、全体的に帯域 幅の使用量が低くなります。

教師と生徒の表示が、約 400% 速く*(7.8 以前で1~2フレーム / 秒(fps) から 8.0 では 6 fps 以上)*初期テストの結果に基づきます。

リモートコントロールは表示機能と同じようなパフォーマンス結果で表示されます。

画面設定を表示

アクティブなディスプレイ - 「画面設定を表示」ダイアログで複数のモニターから選択 することができます。表示セッションを表示する1枚のモニター、または複数のモニ ターを選択します。

画質 - 「画面設定を表示」ダイアログで速度と画質をパフォーマンス・スライダー・ バーで選択できます。Turtle モードでは、最高画質で低パフォーマンスに、rabbit モー ドでは中画質で中パフォーマンスに、cheetah モードでは低画質ですが最高のパフォー マンスになります。

ターボ・モード - セッション中にターボ・モードを起動すると6~10 フレーム / 秒に なり、パフォーマンスが最高で 800% 増加します(利用可能な帯域幅に応じる)。この モードでは、Insight はビデオの表示などの高画質プレゼンテーション中に利用可能な 帯域幅をすべて使用して、最高の体験を提供します。選択されたシステムの一部が計算 速度に基いてこのレベルのパフォーマンスを発揮できない場合、ターボ・モードは無効 になります。

画面書き込み - 教師は赤ペンで画面に書込みできます。このオプションは以前から利用 可能でしたが、教師用コンソール・インターフェースでの配置は理想的ではありません でした。

e-Safety - 禁止用語 \ キーストローク警告

禁止用語のコンテンツ・リスト・サイズの増加で、より堅牢な機能を提供。

スナップショットオプションでは、Insight の生徒による禁止用語の使用によってトリ ガーされて、教師用コンソールにスナップショットが送信されます。

Insight 環境でイベントの集中管理を提供するためにインストールされている場合、 Insight レポート・サーバに警告が送信されます。



レポート・サーバ

新たに改善された Insight レポート・サーバは追加料金なしで含まれています。レポート・サーバには、生徒用コンピュータからスキャンしたソフトウェアおよびハードウェアの在庫情報に加えて e-safety 警告が保持されます。キャプチャされたデータにより、生徒またはコンピュータの Web サイト訪問歴やアプリケーションの使用歴などの提供されたレポートを使用したテクノロジー使用状況の記録および分析が可能になります。

レポートサーバーのログイン情報:

ユーザー名:Administrator

パスワード:insight

Chromebook Student

バッテリーと電源の情報は、警告およびバッテリー電源の残量のパーセンテージ、A/C の状態、充電状態などのリアルタイム状況を表示します。

デモ・モードでは、トライアル版として、完全エディションを購入することなく Insight Chromebook student をすぐに試してみることができます。

パスワード安全モードは、Chromebook をサポートするようになりました。

Android Student

オプションとして、Insight student アプリケーションの外からでもサムネイル監視機 能が有効です。

新しいブランク画面機能。

新しいチャット機能。

新しく再設計された生徒用インターフェース。

Google プロファイルを使用してサインインする機能では、Insight は生徒ログイン名を 使用します。

アプリケーション制限

新しいデフォルト設定では、Insight によって制限されるアプリケーションを最小化、 もしくはアプリケーションをシャットダウンします。



Faronics Insight には、以前のバージョンにあった以下の機能があります。

Chromebook 生徒機能

Faronics が Chrome 49 以降を実行する Chromebook Student デバイスをサポートする ようになりました。

Insight Chromebook Student は Insight 環境内で動作し、Mac、Windows、iOS および Android 用のデスクトップ Insight Student と同様の機能を多数提供します。

Insight Chromebook Student には、生徒、教師、教授、企業講師にとって以下のよう な利点があります。

- 生徒の理解評価 授業中に生徒の意見調査を行い、生徒は Insight Teacher から送信 された〇 × 式または多項選択式の質問に回答できます。
- 個々の生徒のヘルプ-生徒は教師とメッセージをやりとりして連絡を取り合えます。
 生徒は無言で質問を送信したりヘルプを求めたりできます。生徒が質問を送信する
 と教師用コンソールに小さなクエスチョンマークが表示されます。
- 生徒のサムネイルを表示 教師用コンソールに生徒のサムネイルが表示され、教師 は生徒たちの作業の概要を把握できます。
- 生徒の詳細を表示 Chromebook 生徒の詳細ビューには、生徒の名前、コンピュー タ名、最後にアクセスしたウェブサイト、最新の質問および教師チャネルが表示さ れます。
- テスト Insight Teacher は Chromebook 生徒にテストを送信し、回答を回収できま す。テスト問題は〇 × 式、多項選択、短い回答、エッセイで作成できます。各テス ト問題に画像を添付することもできます。
- 教師画面の表示 Insight Teacher には、生徒全員または一部と画面を共有し追従を 許可する機能があります。
- 画面書き込み 教師は赤ペンで画面に書込みできます。
- ウェブ閲覧 一時的に生徒の全員または一部のウェブアクセスブラウザを使用不可にします。教師は生徒が閲覧するサイトを制御したり、特定のサイトに誘導したりできます。
- インターネット履歴 選択した生徒が訪問したウェブサイトの検索可能な一覧を表示し、ファイルに保存できます。
- ブランク画面 教師はすべての生徒の画面をブランクにし、キーボードとマウスを 使用不可にできます。
- URLの実行 この機能により教師は生徒のコンピュータ上でウェブサイトを実行できます。



- クラスリストサポート Chromebook 生徒は教師のリクエストに応えてクラスに参加します。
- Chromebook Student は 8 で、生徒の確認、生徒の表示、スナップショットと チャットの保存など Insight の人気の機能を強化しました。

Insight Student は無料アプリですが、クラスで実行するためには Insight Connection Service (ICS) が必要です。

SSID ネットワーク不正変更

ネットワーク不正変更制御の設定は拡張されて、生徒のデバイスが接続できる特定の 許可されたワイヤレスネットワークのみを有効にできるようになりました。この機能 は、3G/4G データ接続ができるスマートフォンを持った生徒がポータブル Wi-Fi ホッ トスポットを使用するのを防ぐことができます。SSID ネットワーク不正変更は、許可 されたワイヤレスネットワークが使用可能な時に、生徒用コンピュータを強制的に関 連づけることができます。この機能は教師用のインストール時および生徒用の構成オ プションで構成できます。この機能が構成されると、Insight は生徒に許可リストに SSID 名があるワイヤレスネットワークのみとの関連付けを許可します。

評価モード

Insight 7.8 で新登場した「評価モード」です。K-12 教育での特別なオンライン評価の 管理は、米国の Common Core State Standards Initiative (CCSSI)の採用により広く行 われ、州や学校区に包括的なデジタル学習戦略の機会を生み出します。Insight の新機 能である評価モードでは、評価テストを行うために管理者または教師が生徒のコン ピュータを安全なロックモードにできます。

適用すると、生徒は評価モードに入ります。このモード中は教師は生徒とやりとりで きず、評価モードの生徒の監視または通信は制限されます。

Insight 評価モードはテスト中にデバイスをロックダウンすることができるという PARCC テスト要件を目指しています。生徒がテストを放置するのを防ぐとともに、 メッセージの受信をブロックし、許可されていないウェブサイトやアプリケーション へのアクセスを防止します。

教師またはテストの管理者は使用可能なオプションから選択して、評価中の生徒用の コンピュータをロックダウンできます。これらのオプションには、ウェブ、アプリ ケーション、印刷、USB/CDROM/DVD デバイス、および今後のための保存とロード の制限があります。評価モードのアクティビティは後日の参考のために記録されます。



注意:評価モードは ICS に接続している Windows および Mac 生徒用コンピュータでの みフルサポートされています(つまり、すべての評価モード制限設定で制限が可能です)。評価モードの使用を計画している場合は、生徒がチャネルを変更できるように生徒 インストールを設定しないでください。

Student と Teacher の自動更新

Insight Connection Service (ICS) を使えば、すべての Windows と Apple-Mac の Student と Teacher を Insight ソフトウェアの同じバージョンに更新できます。

ソフトウェア配布ツールを使用しても、Insight の Teacher.msi および Student.msi (または Apple の MTUpdate.zip および MUpdate.zip) パッケージの新しいバージョンを 多数のコンピュータに配信するのは困難な場合がよくあります。ICS の「自動更新」機 能でこの操作を自動化できます。

Insight Connection Service

Insight Connection Service は、クライアント - サーバアーキテクチャに基づいて Insight を実行する新しいオプションです。従来の Insight のインストールは、ピアツー ピアアーキテクチャに基づいています。Insight Connection Service は、有線 / ワイヤ レス環境や VLAN をサポートするためにルータやワイヤレスアクセスポイントの構成を 変更する必要性を軽減します。

現存のピアツーピアアーキテクチャは今後も存在し、Insight の優先インストール方法 となる場合も多くあります。

Insight はピアツーピアとクライアント - サーバアーキテクチャが混在するハイブリッ ド環境もサポートします。

Insight Connection Service (ICS) は、10,000 までの接続をサポートし、Student と Teacher を正しい ICS に自動的にリダイレクトし、Student と Teacher のアプリケー ションを ICS でアップデートすることができます。

iOS Teacher's Assistant

iOS Teacher's Assistant は、iPhone と iPad の両方で1つのアプリになりました。 Teacher's Assistant は教師用コンソールとペアにする必要があります(インストールガ イド参照)。Teacher's Assistant が教師用コンソールとペアになると、アシスタント起 動時には常に自動的にペアが発生します。TA は教師チャネル上の全生徒用コンピュー タを見つけ、適切な機能設定をダウンロードします。Teacher's Assistant は以下の機 能を行うことができます。

- 生徒用コンピュータを見つける
- 生徒画面のサムネイルを表示する
- 画面をブランクにする
- 投票
- ウェブを制限する
- アプリケーションを制限する
- メッセージの送信



- 生徒詳細ビュー
 - > 最後に使われたアプリケーション
 - > 最後に訪問されたウェブサイト
 - > 電池情報
- 生徒の質問
- テスト送信
- 生徒をリモートコントロールする

「生徒をリモートコントロールする」を使用すると、教師は選択した生徒のマウス とキーボードにリモートでアクセスしたまま、クラス内を移動できます。注意:iOS および Android 生徒デバイスは現在のところリモートコントロール機能をサポートし ていません。

• 教師をリモートコントロールする

リモートコントロール教師は iOS Teacher's Assistant アプリとペアになっている教師用コンピュータとリモートコントロールセッションを行います。リモートコントロール教師では Insight 教師用コンソールの全機能をリモートで使用したり、教師用コンピュータで起動中の他のあらゆるアプリケーションを教師または教師アシスタントがリモートで使用できます。

iOS 生徒

iOS 生徒には「教師を表示」および「生徒を表示」画面のブロードキャストする機能が あります。生徒には iOS Insight ウェブブラウザが含まれており、生徒がウェブとやり とりする際にサムネイルビューを提供します。さらに、iOS ウェブブラウザはウェブア クセス制限やウェブサイト履歴の表示ができるように構成できます。

* iOS のメモリー制限のため、「教師を表示」で表示される最大画面サイズは、幅 3000 ピクセルです。

Android 生徒機能

Faronics では、スマートフォンやタブレットで Android を実行する生徒デバイスをサポートします。Insight Android 機能は以下の機能を行うことができます。

- 教師用コンソールで Android 生徒サムネイルを表示
- 「教師を表示」画面のブロードキャストを受信
- 「生徒を表示」画面のブロードキャストを受信
- 教師からメッセージを受信
- Insight Teacher が実施するテストの受信
- 教師に質問する
- リアルタイムの提出に往信する
- ブランク画面
- チャット
- ランダムに生徒を選択
- クラスのチャネル変更



- 在庫情報の収集
 - > 現在起動中のアプリケーション
 - > ネットワーク情報
 - > 電池情報

ログイン前はブランク画面にする

デバイスにログインするまで Windows および Mac 生徒の画面をブランクにして、生徒の画面に構成可能なメッセージを表示できます。同じメニュー項目がブランク画面でも選択できますが、リストにあるすべての生徒に、生徒がログアウトしても適用されます。

ログイン前は教師画面を表示する

生徒の一部またはすべてがログインする前に教師画面を表示する選択もできます。教師 の表示を選択すると、リストにあるすべての生徒に、生徒がログアウトしても適用され ます。この場合、教師の表示は「全画面」モードでのみ表示されます。つまり、生徒は マウスやキーボードの入力を制御できず、教師は生徒の最初のログイン認証を待たずに すぐに授業を始めることができます。

チュートリアル

ツールバーの左端に「チュートリアル」という新しいボタンがあります。このボタン は、教師が Insight チュートリアル、資料、サポートなどに簡単にすばやくアクセスで きるように設計されました。

画面フィードビュー

PowerPointのスライドショーや株式相場表示のように、教師用コンソールで各生徒の 全画面サイズのサムネイルを表示し、リストにある生徒画面を順番に切り替えられるよ うになりました。このビューでは、約4秒ごとにリストにある次の生徒に切り替わりま す。

ファイルフォルダの送信 / 回収

教師が、1度に1つのファイルではなく、サブフォルダを含むフォルダごとファイルを 送信および回収できるようになりました。

テストの機能強化

テスト機能にいくつかの強化が追加されました。教師は既に始まっているテストに遅刻 した生徒を追加できるようになりました。さらに、すべての質問に対して生徒が回答を 完了すると教師用コンソールに返され、またテストの結果(正答数)も返るようになり ました。自由記入式のエッセイ問題をテストに追加する機能が追加されました。機能は ブルーブック試験に似ています。



インタンーネット履歴の構成

インターネットサイト訪問の監視をオンにするかどうかを選択する新しいインストー ルオプションが追加されました。ユーザーがコンピュータで押したすべてのキースト ロークを記録し保存するオプションに近いものです。このオプションをチェックせず に生徒をインストールすると、すべての訪問記録が保存され、同様にインストールさ れたすべての生徒から検索可能になります。この監視機能をオフにするには、リモー ト更新またはローカルインストールでこのオプションを選択して生徒を再インストー ルすると、それ以上監視しなくなります。

動的クラス リスト

マンツーマンの教室で特に役に立ちます。任意の生徒情報システム (SIS) のデータが更 新されるたびにそのシステムからデータをエクスポートし、それを教師用コンソール にインポートすることで、Faronics と一体化できるようになりました。この機能の詳 細情報は、前述の「Faronics Insight の動作方法」セクションを参照してください。

IP アドレス順に生徒を表示する

生徒リスト表示の詳細に新しく IP アドレスの列が追加され、教師が生徒を IP アドレス 順に表示しソートできるようになりました。

教師に質問する

「教師に質問する」のお知らせは、すべての生徒の質問のリストが日時と共に質問順に ポップアップ・ウィンドウで表示され、分かりやすくなりました。質問をダブルク リックするだけで生徒のサムネイルが強調されるため、教師も質問した生徒を簡単に 特定することができます。

Tech Console 技術者に質問する

受賞歴のある Faronics Insight クラスルーム管理ソフトウェア に加えて、Faronics は Faronics Tech Console と呼ばれる新製品を生み出しました。学校の技術スタッフが よりよく教師スタッフをサポートできるように、Tech Console では在庫やソフトウェ ア配布のような多数のツールや、リモートでデバイスを制御し生徒用や教師用コン ピュータの問題を扱う機能を用意しています。同一の学校内にインストールされると、 教師は緊急でアシストが必要な場合に Faronics 教師用コンソールから IT グループの 担当者または技術スタッフに質問を送信できます。

全画面またはウィンドウで教師画面を表示する

同じ教師チャネルにいるすべての生徒に教師画面を表示します。

「全画面」と「ウィンドウ」表示から選択できます。全画面モードでは、教師画面が生 徒画面の全部を占め、生徒のマウスおよびキーボードはロックアウトされます。



ウィンドウモードでは、教師画面は生徒用コンピュータのウィンドウに表示されます。 生徒はウィンドウをサイズ変更して、教師の指示に従いながら作業ができます。

生徒用コンピュータに教師画面を表示する場合、スピーカーからサウンドが送信されま す。このサウンドは生徒に Faronics セッションがまもなく始まることを知らせるもの です。このサウンドを変更するには、C:\Program Files\insight\start.wav を自分 のサウンドに置き換えて wav を停止します。Mac では、これらのファイルは

「/Applications/Faronics /Teacher.app/Contents/Resources」にあります。

ログインしていないコンピュータで教師を表示する場合は、常に全画面モードになりま す。

生徒画面を表示する

生徒の画面を他の全生徒に送信します。生徒を選択して「生徒を表示」ボタンをクリッ クするだけです。このボタンが有効になっている間、その生徒は自分のコンピュータを 制御でき、生徒の画面がクラス内の残りの生徒に表示されます。

画面プライバシー

学校で生徒のプライバシーが大きな問題になっているため、生徒が教師に彼らの画面を 見る権限を付与するかどうかを尋ねる設定のオプションを追加しました。生徒の「画面 プライバシー」が有効な場合、教師は生徒のサムネイル、または生徒のデスクトップを View Student、Capture Screen、または Remote Control などのコマンドで見ることが できません。

デフォルトの Student プライバシー設定がインストールの処理中に詳細オプションとして適用されます (デフォルトでは有効ではありません)。

Student の設定は、生徒のデスクトップトレイにある「Insight クライアント」アイコンをクリックし、「画面プライバシー」を選択することにより変更できます。

生徒が画面プライバシー設定の有効を選択している場合、生徒がスクリーンの共有をし ない選択をしているというアイコンとデフォルトのサムネイルが教師用コンソールに表 示されます。

画面に描く

このオプションで、画面に赤ペンで書込みできます。左マウスボタンを押してマウスを 動かし描きます。このモードを終了するには、画面右上の X をクリックして「画面に描 く」ウィンドウを閉じます。

インターネットを一緒にブラウズ

ー緒にブラウズで、教師は第1タブを使ってウェブを閲覧し、選択した生徒用コン ピュータのウェブブラウザに、生徒が入力しなくても教師と同じロケーションを閲覧さ せることができます。「一緒にブラウズ」は Windows コンピュータの Internet Explorer および Mac の Safari でサポートされています。



生徒の投票

Faronics 教師用コンソールから、〇 × 式または多項選択による質問を生徒に質問します。リアルタイムで回答した生徒数とその回答を見ることができます。

生徒のテスト

画像 (.jpg、.png、.gif、.bmp) も使える問題を最高 100 問作成できます。このテスト問題はランダム化でき、1 人以上の生徒に送信して、リアルタイムで追跡できます。教師はオプションでテスト時間を決め、生徒に結果を表示し、結果を .csv ファイルでエクスポートできます。問題形式は○× 式、多項選択、短い回答が可能です。

プログラムの実行

この機能により教師は生徒のコンピュータ上でアプリケーションまたはウェブサイト を実行できます。この機能は、特定のウェブアドレスに誘導したり特定のアプリケー ションを起動することが難しい低年齢層の生徒に対してとても役に立ちます。

リモートコントロール

1 人または複数の選択した生徒をリモートコントロールします。この機能により、選択 した生徒のコンピュータ上のマウスやキーボードをリモートで使用できます。 Faronics ならば、ログインのプロンプトでコンピュータをリモートコントロールする ことさえできます。

リモートコントロール中にコンピュータに「CTRL-ALT-DEL」コマンドを送信するに は、コントロールボタンの山形のメニュー ->「CTRL-ALT-DEL を送信」メニューをク リックするか、「モニター」->「CTRL-ALT-DEL を送信」メニュー項目をクリックし ます。

リモートコントロール中は、Mac のコマンドキーは Windows の ALT キーにマップされ、オプションキーは Windows キーにマップされます。

複数のコンピュータを選択すると、グループで1つのコンピュータを表示しながら複数のコンピュータを同時にリモートコントロールできます。複数のコンピュータの制御は、マシンがまったく同じ場合のみ機能します。

すべて \n 表示

クラス内のすべてのコンピュータ画面を小、中、大、または特大のサムネイルで表示 します。

サムネイル画像にマウスオーバーすると、その画像の生徒のログイン名およびコン ピュータ名がツールチップで表示されます。また、その生徒が質問している場合は、 その質問もツールチップに表示されます。サムネイルに約1秒間マウスを合わせると、 一時的に大きくなります。サムネイルビューで右クリックすると、その生徒を制御す るオプションメニューが表示されます。



のみ見る

教師が選択した生徒のコンピュータを監督できます。監視中は、その生徒の行動をすべて見ることができますが、生徒のキーボードやマウスを制御することはできません。

教室のレイアウト

サムネイルをクラスの形に整列させることができるようになりました。各サイズのサム ネイルは、それぞれ自動的に保存されたレイアウトで並びます。クラスのレイアウト は、保存、ロード、ロックができます。この機能は「表示」メニューの「サムネイル」 項目からアクセスします。この機能は WMS 教師ではサポートされていません。

サムネイルモード(監視モード)で表示する

ハイカラーの生徒サムネイルを最多で 3000 枚まで同時に表示します。各生徒の画面が 「サムネイル」として Faronics 教師用コンソールに表示されます。サムネイルには 4 サイズあり、ベストフィットするように自動的に選択されます。「すべてを表示」ボタ ンをクリックし、次に「選択して表示」オプションをチェックすることで、選択した生 徒のみを表示させることができます。

サムネイル拡大

サムネイルの上にカーソルを置くと、サムネイルのサイズが即座に大きくなります。こ の機能を使わない場合は、「すべてを表示」ボタンをクリックし、次に「*拡大*」オプ ションのチェックを外すことでオフにできます。

デュアルモニター

デュアルモニターは教師用コンソールと生徒ソフトウェアでサポートされています。 デュアルモニターのサムネイルの表示は、分割画面表示で表されます。

アクティブなアプリケーション / ウェブサイトのアイコン

サムネイルの右上には、アクティブなアプリケーションとウェブサイトを表示するオプ ションがあります。

プロファイルのロード / 保存

「表示」メニューの下にある「プロファイル」で、教師の主要な設定を後ですばやく ロードできるように保存します。次の設定がプロファイルに保存されます。

- クラスリスト
- サムネイルのレイアウト
- ウェブ制限の URL およびボタンの状態
- アプリケーション制限のプログラムおよびボタンの状態
- 生徒のタスクマネージャ / アクティビティモニターの制限
- ドット付き 10 進法でのブラウジングの制限



- 印刷ボタン制限の状態
- USB 制限ボタンの状態
- 消音ボタンの状態
- ブランク画面のメッセージ

生徒画面のスナップショット

生徒の画面を標準の画像ファイルで保存します。(.jpg または .bmp) 日付、時刻および 生徒のログイン名が保存したファイルに表示されます。

インターネット履歴表示

選択した生徒が訪問したウェブサイトの検索可能な一覧を表示し、ファイルに保存で きます。この機能は、次のようなサポートされているブラウザで機能します。32 ビッ ト Internet Explorer、Firefox および Chrome は Windows コンピュータでサポートさ れているブラウザです。Mac では、Safari、Chrome および Firefox が一定のウェブサ イト許可でサポートされているブラウザです。

キーストロークとアプリケーション監視を表示する

任意のユーザーがコンピュータで押したすべてのキーストロークを監視します。情報 を保存したキーストロークファイルのサイズは、1 MB または約 1,000 ページのタイプ されたテキストになることがあります。特殊文字はフィルターでき、またこのファイ ルは検索可能です。この機能では、ログインプロンプトまたはパスワードダイアログ のキーストロークは記録しません。この機能はすべての Mac オペレーティングシステ ムおよび Windows 7 以上の PC でサポートされています。レポートは検索可能で、 ファイルとして保存できます。

生徒が実行中のアプリケーションを表示する

生徒のコンピュータで実行中のすべてのアプリケーションを表示し、これらのアプリ ケーションを許可リストまたはブロックリストに追加します。このダイアログボック スで、実行中のアプリケーションをただちに停止させることもできます。

話す

クラスに話す - 教師用コンソールのオーディオをクラスの生徒に放送できます。 生徒がクラスに話す - 生徒が選択したオーディオをクラスの生徒に放送することを許可 します。 生徒と話す - 教師のマイクをオンにして、選択した生徒にオーディオを放送します。 生徒を聞く - 選択した生徒のマイクをオンにして、教師用コンソールにオーディオを放 送します。

メッセージの送信

生徒の全員または一部にメッセージを送信します。気が散っている生徒を作業に戻すの にしばしば有効です。メッセージは生徒用 PC の右下または Mac では右上に表示され ます。

生徒の質問

生徒は Faronics アイコンをクリックして教師への質問を入力できます。生徒のコン ピュータまたはサムネイル上にクエスチョンマークが表示されます。詳細ビューで、生 徒の質問が「最新の質問」列に表示されます。サムネイルビューでは、ツールチップに クエスチョンが表示されているサムネイル画像の上にマウスを置くと、生徒の質問が表 示されます。

クエスチョンマークは、チャットセッション中またはサムネイルを右クリックして教師 がクリアできます。

チャット

教師は教師用コンソールから、1人または複数の生徒とテキストベースのチャットセッションを開始できます。

ランダムに生徒を選択

この機能で、教師は Faronics にランダムに生徒を選択させることができます。これは 生徒を励ましクラスへの参加を促す面白い方法です。

画面をブランクにする

チャネル上のすべての生徒の画面をブランクにし、すべての生徒のキーボードとマウス を使用不可にします。この機能は、生徒に自分のコンピュータで遊んで気を散らさせず に授業をしたい場合や、すばやく注目を集める必要がある場合に役に立ちます。メッ セージは「基本設定」メニューでカスタマイズできます。画面をブランクにしている 間、あらかじめ作成したメッセージの切り替えは、リストから別のメッセージを選択す るだけです。また、次の値をブランク画面メッセージに含めることで、メッセージを 個々の生徒宛にすることもできます。

%student name%

%login name%

%machine name%

生徒のウェブ閲覧を制限する

ー時的にすべてのブラウザで生徒の全員または一部のウェブアクセスを使用不可にしま す*。

基本設定ダイアログで、ブロックする項目を選択できます。

- すべてのウェブアクティビティ
- 特定のウェブサイトを許可
- 特定のウェブサイトをブロック



この機能は「基本設定」ダイアログで構成し、「ウェブを制限」ボタンまたはメニュー 項目をクリックしてオンにする必要があります。

許可リストおよびブロックリストはワイルドカード「*」および「?」を認識しますので、特定の種類のウェブサイトをより簡単に制限できます。

インターネットが使用不可の間は、教師用および生徒用のコンピュータのアイコンが、 ウェブが使用不可であることを表示します。

生徒が許可されていないウェブサイトを閲覧しようとした場合、許可されたウェブサ イトのリストがオプションとして表示され、許可されたサイトのリンクをクリックす ることでアクセスできます。

注意 *: 32 ビット Internet Explorer、Firefox および Chrome が Windows コンピュータ でサポートされているブラウザです。Mac では、Safari、Firefox および Chrome が一 定のウェブサイト許可でサポートされているブラウザです。すべてをブロックは、す べてのウェブブラウザで機能します。

生徒アプリケーションの制限

一時的に生徒の全員または一部の特定のソフトウェアアプリケーションへのアクセス を不可にします。この機能は「基本設定」ダイアログで構成し、「アプリを制限」ボタ ンまたはメニューをクリックしてオンにする必要があります。内部プログラム名を使 用しているため、生徒は単純にアプリケーションの名前を変更することではこの機能 を回避できません。*を追加することで、ワイルドカードに一致するアプリケーション を制限できます。

生徒の印刷を無効にする

ー時的に全員の印刷を無効にします。無効にすると、再度印刷を有効にするまで生徒 は印刷ができません。

ドライブ制限

生徒の USB サムドライブおよび CD-ROM/DVD ドライブへのアクセス機能を制限しま す。USB キーボードとマウスは影響を受けません。

タスクマネージャ (PC) またはアクティビティモニター (Mac) を制限する

このオプションは教師のインストールで最初にこの機能を選択したかどうかで有効ま たは無効になります。インストールで選択した場合は、「基本設定」ダイアログの「生 徒」タブでオプションをチェックすることで、生徒によるタスクマネージャまたはア クティビティモニターの実行を制限できます。

禁止用語を警告する

生徒が禁止用語リストにある用語を入力した場合は、教師が警告を受け取ります。警 告アイコンが生徒サムネイルの上に表示され、アイコンにマウスを合わせると禁止用 語が表示されます。禁止用語のリストは「基本設定」メニューの「キーストローク警 告」タブをクリックして指定します。



無音にする

生徒用コンピュータのサウンドを無音にします。「*無音*」ボタンまたは「*制限する*」メ ニューの下にある「生徒スピーカーを無音にする」メニューで行います。

マルチキャストビデオディストリビューションおよび再生

ビデオファイルを生徒用コンピュータにマルチキャストしてビデオを効率よく転送し、 再生制御を同期させます。ビデオを再生するには、PC では Windows Media Player お よび適切なコーデックが教師と生徒にインストールされている必要があります。Mac では、Ouicktime でサポートしているビデオが再生できます。

ビデオが正しく再生されない場合は、そのファイルタイプの最新のコーデックがインストールされていることをもう一度確認してください。

ICS 環境マルチキャストビデオディストリビューションは現在サポートされていません。

ノートブックの電池監視

ノートブックまたは iPod の電池状態を監視します。充電が 50% 未満になると、黄色い 警告の電池アイコンが表示されます。充電が 20% 未満になると、赤い重要な警告の電 池アイコンが表示されます。残量のパーセンテージおよび A/C の状態はプロパティー メニューでも見ることができます。

停止、ログオフ、再起動

教師用コンソールから、生徒用コンピュータをシャットダウン、ログオフまたは再起動 します。

リモートログイン

ユーザーがパスワードを持っているがようこそ画面が表示されない場合、教師用コン ソールから Windows コンピュータにリモートでログインできます。ウェルカム画面に は、生徒に名前の入力を要求するかわりに、直近のログインに成功したユーザーのアイ コンを表示します。ようこそ画面でのログオンは、通常はネットワークドメインのメン バーになっているコンピュータでは使いませんが、ワークグループのメンバーになって いるだけのほとんどの PC ではデフォルトです。必要ならば、これらのコンピュータの この挙動を変更できます。

Windows 7/8.1/10

- 1. 管理者権限をもつユーザーで、管理ツールのローカルセキュリティ設定を開きます。
- 2.「セキュリティ設定」->「ローカル設定」->「セキュリティ オプション」に移動します。
- 3. 右ペインで「インタラクティブログオン:最後のユーザー名を表示しない」設定を 探し、この設定を有効にします。

生徒の電源オフ

生徒用コンピュータをログオフ、再起動または電源オフにします。



電源オンまたはウェイクオン LAN

生徒用コンピュータがウェイクオン LAN 技術を使用できるよう構成されている場合、 Faronics 教師はすべての生徒の PC を「電源オン」できます。

ほとんどのコンピュータは、BIOS でウェイクオン LAN オプションがオフになった状態で出荷されるので、起動中に BIOS 設定に入りオプションをオンにする必要があります。

Apple 版のウェイクオン LAN では、Mac はスリープから起きますが、オフになっている Mac の電源はオンにはならないのでご注意ください。

セキュリティ状況の監視

Faronics セキュリティ監視ツールは、「ステータスウィンドウの表示」をクリックし てアクセスできます。この機能は Faronics の全トラフィックを表示し、許可されてい ない Faronics のアクティビティを見つけられます。

製品ダウンロードのユーティリティフォルダにある新しい SecurityMonitor.exe を実行 して、すべての Faronics アクティビティをファイルに記録し、メッセージをタイプと 教師でフィルターすることもできます。

安全モード

Faronics を、コンソールへのアクセスにパスワードを要求するよう構成できます。このパスワードは、安全な生徒インストール中に入力したものと一致させる必要があります。インストールの方法については、「安全モードでの Faronics Insight のインストール」を参照してください。

対不正変更制御

Faronics Insight では生徒がいたずらでソフトウェアをアンロードしたり、クラスを妨害したりさせないよう対策しています。

マウスカーソルを見やすくする

生徒が教師のカーソルを見やすくなるよう、生徒ビューに赤い大きなカーソルが表示 されます。このカーソルは元のカーソルと同じ形ですが、サイズは4倍で明るい赤で す。

NetWare のサポート

コンピュータが NetWare クライアントソフトウェアを使用している場合、Faronics Insight 8 は Microsoft のログイン名の代わりに NetWare ログイン名を使用します。

マルチキャストのサポート

TCP/IP を使用する利点のひとつは、マルチキャストを使用できることです。マルチ キャストを利用すれば、ネットワーキングのハードウェアは Faronics トラフィックを Faronics コンピュータ対してローカルに保持しサブネットをクロスできます。一部の ネットワークルータおよびスイッチはマルチキャストをサポートしていないため、こ のオプションはデフォルトでは使用不可になっていますが、「基本設定」メニューの 「ネットワーク」タブで簡単に使用可能にできます。



チャネルのグループ化

教師は任意の特定チャネルを制御したり、任意の数のチャネルをひとつにグループ化し て同時に制御したりできます。デフォルトでは、教師はチャネルを変更不可能な状態で インストールされています。この機能を有効にしてホームチャネルを変更したり複数の チャネルをグループ制御で表示するには、Insight 管理者に連絡してください。

リストの更新

このオプションを選択するか、または PC でショートカットキー F5、Mac で command+r を使用すると、リストを更新しクラスに入ってきた新しい生徒を表示でき ます。3 分間隔で自動的に実行されます。

生徒用コンピュータになる

教師用コンピュータを一時的に生徒用コンピュータにしたい場合は、教師用コンソール から行うことができます。「管理者」をクリックして、「生徒のコンピュータになる」を クリックします。再起動するか、現在のユーザーがログオフするまで生徒用コンピュー タになります。

選択した生徒をクラスから削除する

この機能は選択した生徒のコンピュータで一時的に Faronics を無効にします。ソフト ウェアは、生徒が次にそのコンピュータにログインした時、またはその生徒のコン ピュータに「選択した生徒を再びクラスに加える」オプションを使用した時に再度有効 になります。

生徒用コンピュータが無効になっている時でもリストには表示されますが、コンピュー タ画面にストップサインの画像が表示されます。これはこの生徒が Faronics で制御さ れていないことを示す教師用の目安です。

コンピュータ表示名を変更

このオプションは実際のコンピュータ名を変更するものではありません。ただし、 Faronics のコンピュータ名フィールドに代替名を表示できます。Windows では、コン ピュータが意味のあるマシン名を持っていない場合、このメニューオプションを使用し てコンピュータにわかりやすい名前をつけることができます(例:「1列5番」)。

Mac では、テクニカルサポートに名前を変更できるセットネームユーティリティがあります。Mac 生徒の表示名は、

/Library/Preferences/com.Insight.student.config.plist というファイルで制御 されています。このスクリプトは名前が入力されればそれをこのファイルに書き込み、 何も入力されない場合は共有基本設定ペインに表示されている現在のコンピュータ名を 表示名に設定します。スクリプトを有効にするにはルートで実行する必要があります。

例えば、Mac 生徒の表示名を「図書館 1」に変更するには:

sudo setname " 図書館 1 |"

他の例:現在のコンピュータ名を表示名にするには:

sudo setname

変更した名前を表示するには、教師用コンソールを再起動する必要があります。



選択した生徒の Faronics を更新

このオプションで Faronics の新しいバージョンを選択した生徒のコンピュータにすば やくインストールできます。この機能を有効にするには、Faronics Insight インストー ルガイド (install.pdf) を参照してください。

コンソールから生徒のチャネルを変更する

教師用コンソールから生徒のチャネルを変更します。この機能は管理者が EnableChannelSelect.exe ユーティリティで有効にする必要があります。この機能についての詳細は、Faronics Insight インストールガイド (install.pdf) にあります。

アクティブディレクトリからの生徒名

Faronics は通常は Windows または Novell のログイン名を表示します。ただし、生徒の表示名がアクティブディレクトリから来ている場合は、その表示名が「ログイン名」欄に表示されます。

ツールバーの構成

メニューの「表示」->「ツールバーの構成」でツールバーをカスタマイズできます。 PC では、「ALT」キーを押しながらボタンを新しい場所にドラッグしり、ボタンバー の外にドラッグして削除したりできます。また、「ツールバーのカスタマイズ」ウィン ドウでツールバーをリセットしてデフォルトに戻すこともできます。

表示されている以上のボタンがある場合は、ツールバーの右上にある「>>」山形ボタ ンでアクセスできます。

教師のキオスクモード

Faronics 教師用コンソールを最小化したり終了したりしないように、このモードで実行します。Faronics 教師用コンソールをキオスクモードで実行するには、Faronics Insight インストールガイド (install.pdf) を参照してください。

Tech Console でのソフトウェアのインストール

ユーザーのコンピュータへのリモートでのソフトウェアパッケージの配布には、複数 のインストールを同時に開始できるスレッディングが含まれています。

プロパティページ

プロパティページは、特定の生徒にどの教師がアクションをかけているかを知る必要 がある場合に、役に立つトラブルシューティングツールです。また、電池残量および充 電状況を表示します。

基本設定

基本設定は Faronics の動作を構成します。詳しくは、「Faronics 構成の基本設定」を 参照してください。



注意:ネットワークで Faronics を設定するシステム管理者は、インストール中にこれ らの設定を最適化することが多いです。カスタマイズされた基本設定に変更を加える前 に、その管理者と相談することをお勧めします。



異なるコンピュータでのテストビルダーの使用

教師は自宅のコンピュータや学校のネットワークの別のコンピュータでテストを作成 したいことがあるかもしれません。

Faronics 教師コンピュータ以外のコンピュータでテストを作成するには、次の手順で行います。

- 1. マイコンピュータで、C:\Program Files\Faronics を表示します。Mac では、 Applications\Insight\Testing を表示します。
- Windows では、Testing ディレクトリをサムドライブ、CD またはネットワークド ライブにコピーします。Mac では、Testbuilder.app をコピーします。
- Windows では、サムドライブ、CD またはネットワークドライブから任意の Windows コンピュータに Testing ディレクトリをペーストします。Mac では、 Testbuilder.app を任意の場所にペーストします。
- 4. Windows では、Testbuilder.exe をダブルクリックして Faronics テストビルダー を起動します。Mac では、Testbuilder.app をダブルクリックします。
- 5. テストを作成します。
- 6. テストを保存します。
- 7. 保存したテスト (.lst files) を Windows の C:\Program Files\Faronics \Testing フォルダにコピーします。Mac では Applications\Insight\Testing フォルダに コピーします。
- 8. 新しく作成したテストを表示し、Faronics 教師用コンソールで生徒に送信します。


Faronics セキュリティ監視

Faronics のような強力なツールでは、常に悪用される危険があります。生徒が不正コ ピーを探したり、教師ソフトウェアを読み込んでみたりしたい誘惑にかられ、クラスの 進行を妨害してしまうこともあり得ます。

潜在的な悪用に対処するためには3つの方法があります。

- 1. 適切な行動についての学校の方針を設定し、その方針を監視、実行します。
- Faronics Insight をアクティブディレクトリ安全モードにインストールします。この 場合、教師は生徒用コンピュータを管理するために「Faronics 教師」というドメイ ングループに属している必要があります。(推奨されるメソッド)
- 3. パスワードが必要な安全モードで Faronics Insight をインストールします。

セキュリティ監視

セキュリティ監視は、Faronics ダウンロードファイルのユーティリティフォルダでも 利用できます。このアプリケーションはどの生徒用 PC でも実行できるもので、 Faronics プログラムのインストール、アンインストールを含む Faronics のアクティビ ティについてのログを記録します。

このユーティリティがあれば、大概、クラスルームの「適切な使用方針」を悪用した生徒を学校が素早く見つけることができます。

表示 それからステータスウィンドウ を続けてクリックしても、教師はセキュリティ監 視データにアクセスできます。アクションを実行次第、セキュリティメッセージが表示 されます。

以前のバージョンでは、Faronics のデモバージョンをダウンロードしてインストール した生徒たちが最大のセキュリティ問題を引き起こしました。Faronics v6.1 以降、デ モバージョンはリリース済のバージョンとの連携はありません。



Faronics 構成の基本設定

「基本設定」ダイアログには、管理者と教師の両方の設定があります。教師が変更を希 望するかもしれない設定は以下のとおりです。

全画面またはウィンドウ

全画面では教師画面が生徒画面に表示され、キーボードとマウスを使用不可にします。 ウィンドウでは、教師画面は生徒画面にサイズ変更が可能なウィンドウで表示され、 生徒のキーボードおよびマウスは使用不可になりません。

デュアルモニターの表示

教師用コンソールおよび生徒のデュアルモニターのサポートをオンにします。 注:現時点で[デュアル モニタを表示]は Windows 7 では機能しません。Windows 8.1 以降が動作しているシステムでは機能します。

画面メッセージを削除する

教師が、生徒の画面がブランクの時に表示するメッセージを指定します。

サウンド

教師が、「教師を表示」または「生徒を表示」ボタンが押されている時にサウンドをオフ にします。

生徒上のタスクマネージャ / アクティビティモニターを制限する

チェックすると、PC のタスク マネージャおよび Mac のアクティビティモニターを無効にします。Faronics のハッキングや妨害を防止するのに有効です。

IP アドレス /Private/Incognito/Modern Internet Explorer の InPrivate での閲覧を制限する

Faronics のウェブ制限機能を回避するために、IP アドレスでの閲覧を使用する生徒が います。このオプションを選択すると、生徒は IP アドレスを使ったウェブの閲覧がで きません。(例:http://70.235.50.6)

Faronics は、Internet Explorer での InPrivate の閲覧、Firefox でのプライベートブラ ウジング、Windows および Mac OS の Chrome で匿名での閲覧も制限しています。 Chromebook は特別なケースです。Chromebook での生徒の匿名モードでの閲覧を防 ぐには、Chrome OS の Insight の Web Helper 拡張で「匿名を許可」オプションを チェックする必要があります。

さらに、Microsoft Modern IE (Edge) での閲覧を制限する機能も許可しています。



ウェブ制限が有効の場合、次を指定します。

- ウェブの参照をすべてブロック
- 次のウェブサイトのみ許可
- 次のウェブサイトをブロック

ウェブサイトのリストは保存とロードができます。ワイルドカード「*」「?」が使用で きます。Windows 生徒では、Internet Explorer、Firefox および Chrome でウェブ制限 ができます。Mac 生徒では、Safari、Firefox および Chrome を使用している場合に ウェブ制限ができます。

アプリケーション制限

アプリケーション制限が有効の場合、次を指定します。

- 次のアプリケーションのみ許可
- 次のアプリケーションをブロック

「基本設定」ダイアログで追加ボタンをクリックするか、「生徒の実行中のプログラムを 見る」で、アプリケーションを許可リストまたはブロックリストに追加できます。「基 本設定」ダイアログは教師用 PC で実行中のアプリケーションを表示します。

アプリケーションのリストは保存とロードができます。

実行中のアプリケーションのアイコンをサムネイルに表示

有効にすると、生徒 PC で現在実行中のアプリケーションがサムネイルの右上にアイコンで表示されます。

最新訪問したウェブサイトのアイコンをサムネイルに表示

有効にすると、生徒が最近訪問したウェブサイトがサムネイルの右上にアイコンで表示 されます。

生徒用コンピュータの Faronics フォルダのフルパス

教師が生徒ファイルのデフォルトの場所を指定できます。ハードドライブでもネット ワークドライブでもかまいません。

ドライブ制限

ドライブ制限ボタンをクリックした時にブロックするドライブの種類を指定します。

キーストローク警告

生徒がタイプしたら教師が警告を受け取る用語のリストを作成、保存、ロードします。 それぞれの用語は改行で区切る必要があります。

注意:「ネットワーク」タブなどその他のオプションはインストールマニュアルに説明 があります。変更はシステム管理者のみが行ってください。 **112** Faronics Insight の使用

